

【第1号議案】(報告事項)

令和2年度事業報告に関する件 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I. 事業の状況

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本会では対策本部を設置し、本会のコロナ対応方針、事務局対応を決定し、本会活動を実施したが、この1年、対面での学会行事、委員会開催がほとんど困難となった。5月の第138回春期大会(香川大学)の中止やシンポジウム、セミナーの延期、11月の第139回秋期大会(東京都立大学)のオンライン開催など学会事業は縮小、開催方式変更を迫られた。2021年の本会創立70周年記念事業検討や2022年のICAA(International Conference on Aluminium Alloys:アルミニウム合金国際会議)18の富山開催準備、各常設委員会、研究部会などオンライン会議を利用した形での活動となった。総合計画委員会では70周年記念事業案をまとめ、特設WEBサイトを設置し、記念事業内容、70年の歩みを紹介した。また、会員管理システム更新により、年齢区分による新会費制度スタートの準備を行った。人材育成については中高生向けの企画として大学オープンキャンパスへの軽金属製品供与・貸与事業や学生会員の就職支援事業の「ライトメタルリクルート」WEBサイト運営を継続した。男女共同参画委員会では秋期大会で、人材育成に関する「最近の上司と部下のコミュニケーション」セッションを開催した。国際交流委員会では、「環境、エネルギー、持続可能な開発」をテーマとするALMA(Asian Light Metals Association) Forum 2020 & Meetingの第139回秋期大会会期中開催を企画したが、コロナ対応でForumを2022年に延期し、Meetingのみオンライン開催した。海外各国代表とその後援団体とMOU締結の合意を得た。研究開発活動は1部会(マテリアルズ・インフォマティクス)を加え、15研究部会がオンライン開催中心の活動を展開した。最終年度を迎えた3研究部会が終了となり、次年度は新規部会(アルミニウム合金のひずみ速度感受性モデル化、6000系アルミニウム合金の相変態挙動)を加え、14部会が活動することとなった。学会誌「軽金属」は編集方法を変更し、毎月15日発刊を常態化した。また、70周年記念出版として、会誌特集号(令和3年11月号)や「私の一枚」集、軽金属学会70年の歩み(軽金属学会70年史)の準備を行った。軽金属奨学会の協力を得て、共同刊行誌 Mater. Trans. へのレビューペーパー投稿助成制度を準備した。前年予定した第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」第6回は10月にソーシャルディスタンス確保、体温測定、フェースガード着用、消毒液等の感染防止対策を施し、実施した。

[1]研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1項第1号)

1. 春秋講演大会の開催

1)第138回春期大会 新型コロナ感染症対策により中止、概要集発行により既発表扱いとした。

会期	: 令和2年5月22-24日	
会場	: 香川大学幸町北キャンパス、かがわ国際会議場	
実行委員長	: 田中康弘(香川大学)	
定時総会	: 令和2年5月22日	日本アルミニウム協会会議室にてWEB開催
研究発表講演	: 令和2年5月23-24日	中止171件発表
ポスターセッション	: 令和2年5月23日	中止 69件発表(日本語65件、英語4件)
表彰式	: 令和2年5月22日	中止
懇親会	: 令和2年5月23日(香川大学 生協食堂 ダイニング ソラミ)	中止
機器・カタログ展示	: 令和2年5月23-24日	中止 7社
軽金属企業研究会	: 令和2年5月23-24日	中止 7社

2)第139回秋期大会 新型コロナ感染症対策により、オンライン開催とした。

会期	: 令和2年11月6-8日	
会場	: 東京都立大学 日野キャンパス	11月7-8日オンライン開催
実行委員長	: 北菌幸一(東京都立大学)	大会運営委員会担当開催
研究発表講演	: 令和2年11月7-8日	オンライン開催138件発表
ポスターセッション	: 令和2年11月7日	オンライン開催 47件発表(日本語44件、英語3件)
表彰式	: 令和2年11月6日	中止
懇親会	: 令和2年11月7日(東京都立大学 生協食堂)	中止
機器・カタログ展示	: 令和2年11月7-8日	オンライン開催 3社参加
軽金属企業研究会	: 令和2年11月7日	オンライン開催 6社参加

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催令和年月日	開催場所	参加者数
1	第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」第6回	2年10月2日	貸会議室 内海	16名
2	軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」	2年11月19、20日	つま恋リゾート彩の郷	23名
3	第32回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—入門編(状態図と組織)」第10回	2年12月4日	貸会議室 内海	18名
4	第115回シンポジウム「アルミニウム合金の連続鋳造」	3年1月22日	貸会議室 内海	39名

	技術]	3年4月9日に延期		
5	第33回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編(時効析出)」第9回	3年2月4日 延期	貸会議室 内海	
6	第35回軽金属セミナー「マグネシウム合金の基礎技術」第4回	3年2月12日 4月以降に延期	貸会議室 内海	
7	第114回シンポジウム「アルミ板材の冷間成形 CAEの高精度化と自動車への適用」	3年2月18日 延期	貸会議室 内海	
8	第116回シンポジウム「構造材料のための表面処理と腐食防食」	3年3月12日 延期	貸会議室 内海	
9	第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」第7回	3年3月19日 延期	貸会議室 内海	

[2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第1項第2号)

1. 国際交流

1)ICAA(International Conference on Aluminium Alloys)18

2020年6月14-18日にグルノーブル開催を予定していたICAA17はコロナ感染症対策により2020年10月25-29日に開催延期され、プレゼンテーションビデオを使用したバーチャル開催となった。10月29日にバーチャル会場にて2022年9月4-8日富山開催予定のICAA18紹介ビデオを放映し、10月30日には公式HP、1stサーキュラを公開した。ICAA18メインテーマを「Aluminium and its alloys for zero carbon society」と決定し、7月より日本語版1stサーキュラを本会HPに掲載し、国内への周知を図り、実行委員会のサーキュラ・プログラム編成WG、論文審査・論文集編纂WG、会場・講演会・パンフレットWG、展示・エキスカッション・見学会WGが行事企画を行い、以下日程案を作成した。コロナ感染症対策やICAA17でのバーチャル開催の有効性評価などから、ICAA18は対面開催を基本としつつも、オンライン開催、ハイブリッド開催などの選択肢も検討することとした。

2021年12月1日 講演申込(300ワードアブストラクトのオンライン提出)締切
2022年1月16日-31日 採択通知
2022年5月31日 1ページアブストラクトのオンライン提出締切(必須)
2022年5月31日 Materials Transactions 特集論文原稿投稿締切(任意)
2022年5月31日 早期参加登録締切
2022年9月1日 1ページアブストラクト集ダウンロード開始
2022年9月4日-8日 ICAA18開催
2022年12月1日 Materials Transactions ICAA18特集 電子版 発刊

2)ALMA (Asian Light Metals Association) Forum 2020 & Meeting

令和2年11月6日-8日に首都大学東京日野キャンパスにて開催される第139回秋期大会と同時開催を準備したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、秋期大会がオンライン開催となり、ALMA 海外メンバーの来日も難しく、Forumは2022年に延期することとし、ALMA Meetingのみオンライン開催。

(1)ALMA Meeting

韓国、中国、台湾、オーストラリアと各国後援団体を決定し、MOU締結することとした。2019年に技術セミナーを共催したタイのThailand Institute of Scientific and Technological Research (TISTR)がオブザーバ参加した。

3)第20回軽金属国際ワークショップ

9月28日-10月8日に、富山大学第6回先端材料研究フォーラムの共催行事として第20回軽金属国際ワークショップを開催した。国内外から11件のオンライン講演を実施。

2. 産学官の連携

参与会を2回開催計画したが、7月8日の第1回株式会社IHIの「つなぐラボ」、「IHIグループ横浜ラボ」見学会はコロナの影響で延期した。第2回は11月25日にWEB開催により、リオテントジャパン株式会社アルミニウム事業部 小原雄一郎氏の「アルミニウムのサプライチェーンにおけるサステナビリティへの取り組みについて」、長岡技術科学大学 SDGs推進室長 南口誠教授の「長岡技術科学大学におけるSDGsの取り組みについて」の講演会を実施し、意見交換を行った。また、昨年に続き、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センターマルチマテリアル研究部門から研究開発事業に関する提言を求められ、本学会の研究部会との連携等々、要請した。

3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。日本アルミニウム協会の研究助成事業の約30件の研究の大部分を講演大会で成果発表した。大学オープンキャンパスへの軽金属製品供与貸与事業にも参画いただき、子供向け学習教材「アルミなるほどミュージアム」冊子供与、自動車フード、エンジンシリンダブロックなど大型製品貸与の協力を得た。この他、日本アルミニウム協会「アルミニウム技術戦略ロードマップ」2020に軽金属学会「軽金属ロードマップ」のアルミニウム部分を参考資料として掲載した。2022年富山開催予定のICAA(International Conference on Aluminum Alloys)18の後援寄附金をいただいた。

4. 日本マグネシウム協会、日本チタン協会、軽金属溶接協会との連携

マグネシウム研究部会を継続し、日本マグネシウム協会メンバーの参画により研究連携を実施した。第138回春期講演大会(開催中止)、第140回春期大会での「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発」のテーマセッションを企画した。また、「マグネシウム合金の基礎技術」セミナー講師を日本マグネシウム協会事務局に依頼した。溶接・接

合関連の若手研究者奨励のため、秋期講演大会ポスター発表に軽金属溶接協会からの表彰を実施し、溶接関係研究発表の1名が表彰された。2022年富山開催予定のICAA18(International Conference on Aluminum Alloys)の後援寄附金をいただいた。

5. 他学術団体、業界団体との連携

日本学術会議材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第1項第3号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、第70巻4-12号、第71巻1-3号までの12冊を、うち、第71回1号は特集号「アルミニウムの凝固・微細化・清浄化」、第71巻2号は特集号「異種金属接合部の腐食挙動予測」として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。

区分	編数	区分	編数	区分	編数
巻頭言	3	連載講座	10	支部特集	19
研究論文	39	新製品紹介	0	はぐくむ	1
速報論文	7	随想	5	研究部会紹介	6
解説	11	LMコラム	4	学会便り	6
技術報告	1	研究室／研究所紹介	0	支部便り	7
年間レビュー	12	維持会員紹介	1	私の一枚	4
座談会	1	国際会議便り	3	掲載総数	140

2. 研究部会報告書の発行

前期終了した5研究部会のうち4研究部会の報告書を発行した。今期終了の3部会は次年度に発行予定。

No.	名 称	発行 令和年月日
77	チタンの準安定相・析出相研究部会報告書 「チタンの準安定相・析出相研究部会報告書」	2年10月30日
78	アルミニウムのトライボロジー研究部会報告書 「アルミニウム板の熱間圧延におけるロールコーティング起点の解明」	3年3月31日
79	異種金属接合部の腐食挙動予測研究部会報告書	3年3月31日
80	新エネルギー向け表面処理研究部会報告書 「新エネルギー分野におけるアルミニウムの表面処理技術に関する調査報告書」	3年3月31日

3. その他刊行物

名 称	発行 令和年月日
第138回春期大会講演概要集(冊子体、電子版)	2年4月22日
第114回シンポジウム「アルミ板材の冷間成形 CAE の高精度化と自動車への適用」	2年6月14日
第139回秋期大会講演概要集(冊子体、電子版)	2年10月6日
第115回シンポジウム「アルミニウム合金の連続鋳造技術」	3年1月22日
第116回シンポジウム「構造材料のための表面処理と腐食防食」	3年3月12日

[4]研究及び調査の実施(定款第4条第1項第4号)

研究委員会は新設の「マテリアルズ・インフォマティクス研究部会」を加えた15部会が活発な研究事業を実施した。WEB上に各研究部会活動紹介を行い、部会活動の見える化を図った。春秋講演大会でLPSO/MFS 構造材料研究部会と汎用型高性能・高信頼性マグネシウム合金研究部会、アルミニウム中の水素と材料物性研究部会が企画したテーマセッションを実施した。また、最終年度を迎えた3研究部会が終了となり、新規部会、6000系アルミニウム合金の相変態挙動研究部会、アルミニウム合金のひずみ速度感受性モデル化研究部会も加え、次年度の設置準備を行った。令和2年度の15研究部会の活動成果概要を下表に示す。

No.	部会名	課題	研究成果概要
1	高精度板成形シミュレーションの普及化検討研究部会 【開催期間】 平成28年4月- 令和3年3月	アルミニウム等軽金属材料の成形シミュレーションの材料モデルとパラメータの適正化による高精度化を行い、得られた知見の一般化を迫り、実用部品への適用も可能とする技術確立を進める。さらには、ソフト開発を視野に入れ、国プロ	2回(令和2年7月3日、10月23日)の研究部会を開催。 ①企画委員会の令和2年9月18日開催予定のシンポジウム「冷間アルミ板材成形 CAE の高精度化と自動車への適用」を共催し、部会関連テーマで講演予定であったが、テキスト完成するも、コロナ感染防止のため、今期開催を見送った。 ②現NEDO先導研究から2021年国プロ(資源循環)への採択に向け新部会立上げを検討したが、日本アルミニウム協会を中心とした活動に止めた。

	末(1年延長) 今期終了	への提案を目指し研究開発を進める。	③西田政弘教授(名古屋工業大学)が立ち上げる「アルミニウム合金のひずみ速度感受性モデル化研究部会」を高精度板成形シミュレーション普及化技術研究部会の後継部会として進めることとした。 ④部会報告書の構成・目次については委員全員の同意が得られ、各担当の年度末を目標に執筆を進め、成果報告書の形式を整えたのち、2021年7月を目標に印刷・発行予定とした。
2	アルミニウムの再結晶集合組織形成モデル化研究部会 【開催期間】 平成29年4月-令和3年3月末 今期終了	アルミニウムの再結晶集合組織形成のモデル化を中心として、塑性加工を施したアルミニウムの変形・再結晶集合組織予測モデルの構築とその実験的検証、および再結晶集合組織による成形性(曲げ性・深絞り性)の評価を行う。ただし、用いる塑性加工法は圧延に限定しない。	3回(令和2年6月30日、令和3年1月22日、3月17日)の研究部会を開催。研究部会報告書は令和3年8月に作成予定。成果について、第141回秋期大会テーマセッションでの発表を予定。商用プログラムを使用しない独自プログラム開発は未完となり、プログラム販売は断念し、部会メンバー内での利用可能とした。 ①変形集合組織予測プログラム:非線形最適化プログラムは商用プログラムを用いて、変形集合組織の予測を実施。離散データの連続関数への変換プログラムの自前作成は未完。 ②再結晶集合組織予測モデル:核生成モデルは蓄積エネルギーによる核生成(累積 Taylor 因子)、粒界近傍の核生成(変形集合組織)、粗大粒子周りの核生成(PSN)の3つとし、核成長モデルは<111>40°回転を用い、アルゴリズムは部会長案とし、プログラム化した。 ③板材成形性予測プログラム:非対称極点図を用いて完成。 ④プログラムの連結に必要な入出口部検討が必要。
3	アルミニウム合金の熱処理技術とミュオン測定検討部会 【開催期間】 平成29年4月-令和3年3月末 今期終了	ミュオンスピン緩和スペクトル法など最新の測定技術を駆使しつつ、熱処理において時効硬化型Al合金中に生ずる現象の正確かつ精密な把握と、その現象を最大限に生かしつつ、かつ低コスト化に効果的な熱処理技術、新規な熱処理手法を立案し、自動車、鉄道車両、航空機部材として利用可能な熱処理技術を確立することを目的とする。	2回(令和2年11月12日、令和3年2月12日)の研究部会を開催。後継部会設置を検討し、廣澤渉一教授(横浜国立大学)を部会長とする「6000系アルミニウム合金の相変態挙動研究部会」設置を決定した。部会報告書は6月発行予定。下記成果をもとに、時効硬化型Al合金における原子空孔の有効活用と実用展開のために、原子空孔と溶質クラスタ、さらに水素の挙動解析が必要であり、正ミュオンのスピン緩和スペクトルを始めとする各種検出手法の工業的利用を推進する。 ①ミュオンスピン緩和スペクトル法により、6000系アルミニウム合金の時効現象をとらえることができた。低温から、以下のサイトにトラップされると推測される。 ②Al-4.2%Zn-0.8%Mg合金の焼き入れ試料には、巨大反磁性がある。しかし、自然時効で徐々に消失する。反磁性の経時変化は、試料の硬さ変化と相関する ③Cuを含む時効硬化型アルミニウム合金から得られたSAED図形中には、その時効条件で予想される中間相やAl母相からの回折としては指数付けできない余分な回折斑点が確認された。これらの余分な回折斑点はCuを含まない合金にも観察されなかった。 ④SAED図形の解析結果より、初期クラスタ、第2クラスタとしてAl-Mg-Si合金中のβ'相を基本としたMgSi(Ge)Mg、CuMgSi(Ge)、AlCuMgとAlZnMgの各クラスタとして「ユニバーサルクラスタ」が提案された。 ⑤Cuを含む合金では第2クラスタはAPBを持つ3つの初期クラスタから構成されると考えられたのに対して、Cuを含まないMgSi(Ge)Mg初期クラスタは第2クラスタには成長しないと考えられた。また、AlZnMgクラスタはZnとCuが置換できると考えられた。
4	押出材組織に起因する欠陥検討部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	組織の違いにより生じる表面欠陥、機械的特性のばらつきに対して押出加工条件や工具形状で改善が図れるか否かの議論に用いることができる数値シミュレーションの開発を進める。用いる組織予測式の開発には、各種アルミニウム合金の組織変化の特性を把握する必要があるため、組織分析の実験も並行して進める。	3回(令和2年9月7・9日、12月16日、令和3年3月3日)の研究部会を開催。3種のブリッジ形状を有するポートホールダイスで熱間押出加工したA6063ホロー型材(断面50×80、厚さ2mm)の融着部組織観察を行った。また、ダイス内のメタル流動解析シミュレーションを実施し、得られたデータを第139回秋期大会で発表した。 ①ピレット温度:450、500℃、ラム速度0.1、0.2、0.4、0.6m/minで押出したA6063型材先端と押残りディスクの融着部観察を実施。 ②ポイントトラッキング機能を用いて、ブリッジ前面と背面部のメタルの流動状態と温度、歪を観測した。

5	アルミニウム板生産技術研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	アルミニウム板製品の表面欠陥についての分類から始まり、発生メカニズムの整理、防止策の検討や事例紹介、また、表面欠陥の検出技術についても議論検討しレベルの向上を図る。最終的には事例集を中心に報告書を作成する。	4回(令和2年5月29日、8月28日、11月18日、令和3年3月26日)の研究部会を開催。各社事例の抽出を行い、80件が抽出された。この抽出事例を下記に分類し集約を行った。発生要因及び対策事例の協議を行い、あるべき姿の抽出も併せて行っている。 ①先端:巻き付け時の形状不良、巻き付け不可、その他 ②圧延中:蛇行、板破断、尾端非停止、板厚変動 ③圧延後:コイル変形、巻き緩み ④巻取り後
6	アルミニウム中の水素と材料物性研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	アルミニウムに過飽和に固溶する原子状水素とそれが分子状水素として析出したポアやブリスターなどのマイクロ欠陥の生成、成長および消滅、およびそれらがアルミニウムの材料物性に及ぼす影響を調査し、水素やマイクロ欠陥制御による特性改善の可能性を議論する。	3回(令和2年6月15日、9月30日、令和3年1月29日)の研究部会を開催。 ①共通試料が完成し、予定通り希望委員への試料の送付が完了した。供給される共通試料の組成・内在水素量の分析についても完了した。 ②水素分析の結果、合金によっては水素量を大きく変化できていない合金があるため、どのように水素量の違いを特性との関係で評価するかについては方向性を決める必要がある。ラウンドロビンテストにおける、熱処理や測定条件の統一についても検討が必要。 ③アルミニウム中の水素挙動、水素分析・解析事例など講師による研究事例紹介を行った。 ④139回の軽金属学会秋期講演大会においてJSTヘテロ構造制御プロジェクト&水素部会との共催でテーマセッションを実施した。「アルミニウム合金の水素脆化と水素脆化防止に関する研究の新展開」基調講演4件、一般公演18件
7	アルミニウム接着接合研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	アルミニウム材の接着特性、とりわけ長期信頼性が確保できることを念頭に置き、①アルミニウム素材の表面処理と接着現場での前処理による表面性状と接着メカニズムの解析、②劣化を模擬する試験条件の検討と標準化、③耐久性劣化メカニズムの解析、④劣化予測技術への足がかり、等を検討する。	4回(令和2年4月17日、6月24日、11月5日、令和3年1月20日)の研究部会を開催。「接着性能が得られる表面の指標を規定」「耐久試験時の劣化メカニズムを特定」を目的とした予備試験を具体的に5つの試験項目を決定し、チーム分けして各社に分担して着手した。 ①予備試験1,5:せん断試験を行うための補強板の適用方法を規定できた。 ②予備試験2:専用のアルミ袋に保管することで表面の経時劣化を抑制する効果を確認できた。 ③予備試験3:新規の評価手法として誘電率測定による接着試験片の経時変化の測定を着手した。 ④予備試験4:DC材、圧延品の各種洗浄を実施後の接触角測定や表面分析を実施。
8	汎用型高性能・高信頼性マグネシウム合金研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	汎用性の高い合金(資源偏在性の少ない安価な、かつリサイクルが容易な合金)を対象として、その性能・使いやすさを継続的に改善していく。構造部材としての信頼性(クリープ特性、耐食性、疲労特性等)や、評価手法の確立などにも焦点を当てる。	3回(令和2年7月1日、11月19日、令和3年3月31日)の研究部会を開催。ダイカスト協会、日本マグネシウム協会で開催した評価内容を参考に深堀を行うこととし、各機関(産総研、茨城県、長岡技科大、JFEテクニサーチ)が保有する応力腐食試験機の仕様を確認した。 ①ボルト軸力クリープ試験:厚みの異なるAZ31圧延材をベースとして、軸力クリープ試験を、Mg協会で開催した条件と同条件で試験を実施することとした。 ②応力腐食試験:初期pHを6.5~7.0にした0.01M NaCl水溶液中にAZ31合金を無負荷で浸漬し、pH変動を確認し、その結果を見た上で再度議論することとした。
9	加工熱処理工程における動的/静的組織形成予測部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末	我が国独自のアルミ製造技術に貢献できる材料組織形成シミュレーションの構築を目指す。加工中の動的組織変化および最終組織の機械的特性に影響を及ぼす一要因に挙げられる、高温変形過程における第二相粒子などの動的析出挙動についてのデータベース構築および動的観察技術の可能性を模索する。	1回(令和2年12月10日)の研究部会を開催。部会勉強会教材として、Virtual fabrication of aluminium products: microstructural modeling in industrial aluminum production, ICAA17のProceedingsとなる”MATEC Web of Conferences”を選定することにし、輪講を実施する。 ①研究部会共通試料、加工熱処理方法、勉強会まとめ方法等について引き続き検討を進める。 ②Al-Mn系合金を研究対象として、Spring-8放射光による高温引張変形中のSAXS/XRD測定、動的/静的再結晶挙動、析出挙動の評価を実施した。
10	アルミニウム製造副産物のアッ	副産物の主成分である酸化物を安価で簡易に高純度化する	コロナ感染対策のため、研究部会を開催できなかった。実験進捗遅れもあり、1年延長を決定した。

	<p>プサイクル研究部会</p> <p>【開催期間】 平成30年4月-令和5年3月末 (1年延長)</p>	<p>アップサイクルプロセスを研究・議論し、耐火材原料やセメント原料等への市場開拓を実施する。</p>	<p>①副産物(実廃棄物)の詳細な分析を実施中。合金メーカーの副産物についても承諾を得た。</p> <p>②AGC セラミックスで簡易的な評価テストを実施した。</p> <p>③大手アルミメーカーの低品位ドロス残灰(集じん灰)について、$MgAl_2O_4$、MgO の成分分析を実施した。</p>
11	<p>中・高温域におけるアルミニウム合金の機械的特性に関する研究部会</p> <p>【開催期間】 平成30年4月-令和5年3月末 (1年延長)</p>	<p>各種合金における100-400℃付近の温度における各合金の変形抵抗、特に成形時の高ひずみ速度における特性をデータベース化し、熱利用成形の普及を図る。</p>	<p>2回(令和2年11月30日、令和3年3月1日)の研究部会を開催。温間成形加工実験(圧縮試験)方法を決定し、実験開始した。コロナ感染対策のため、実験進捗遅れもあり、1年延長を決定した。</p> <p>①鍛造実験装置の決定を行った。簡易的な評価テストを実施する予定である。</p> <p>②単軸引張試験の実施については当初の予定であった広島大学と香川高専での実施を当面検討する。</p> <p>③FEM 構成式の検討やその計算は上記実験データをもとに行う予定である(高度構成方程式の導入手法については確立済み)。</p>
12	<p>アルミニウム溶湯による耐火物の損傷プロセス研究部会</p> <p>【開催期間】 平成30年4月-令和5年3月末 (1年延長)</p>	<p>耐火物損傷プロセスを溶湯成分、耐火物種等から調査し、特徴を分離、データベース化し、耐火物・溶湯品質の改善に繋げる。</p>	<p>2回(令和2年11月17日、令和3年3月9日)の研究部会を開催。コロナ感染対策のため、実験進捗遅れもあり、1年延長を決定した。</p> <p>①溶湯と耐火物の反応による耐火物の損傷の進行に伴う変質層の変化をX線CTやFE-EPMAにより調査した。</p> <p>②操業炉から耐火物損傷部を採取し分析した。</p>
13	<p>高強度アルミニウム合金部会</p> <p>【開催期間】 平成30年4月-令和5年3月末 (1年延長)</p>	<p>巨大歪み加工や合金組成制御した時効析出を利用したアルミニウム合金の高強度化技術を一元的に整理し、実用高強度合金の開発に資する基礎的知見として体系化する。</p>	<p>4回(令和2年9月9日、12月1日、令和3年1月22日、3月29日)の研究部会を開催した。コロナ感染対策のため、実験進捗遅れもあり、1年延長を決定した。</p> <p>①長野鍛工でHPS加工を行い、その他のプロセスで高強度化した場合と比較することとした。</p> <p>②共通試料を用いて各種プロセスによる高強度化を実施し、その機械的特性の評価を進めた。</p> <p>③実用特性として共通試料を用いた耐SCC性の評価を行うことを決定した。</p>
14	<p>LPSO/MFS 構造材料研究部会</p> <p>【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末</p>	<p>ミルフィーユ構造(MFS構造)は、Mg合金のみならずAl合金やTi合金においても形成される可能性が高く、軽金属材料に革新をもたらすことが期待される。そこで、軽金属材料を中心にLPSO構造やMFS構造を持つ新物質の創製を試みるとともに、その構造とキンクの制御により高強度の軽金属材料の創成を試みる。</p>	<p>3回(令和2年11月20日、令和3年1月19日、3月29日)の研究部会を開催。</p> <p>①第138回春期大会においてテーマセッション「LPSO/MFS 構造の材料科学Ⅲ」を実施して、LPSO/MFS 構造を持つ軽金属材料に関する議論を深める予定であったが、コロナ感染対応のため中止となった。</p> <p>②金属系 MFS 構造物質の創製とキンク強化の可能性、セラミックス系と高分子系の MFS 構造の創製とキンク強化、LPSO/MFS 構造のキンク形成とキンク強化の3テーマについてオンライン講演会、総合討論を実施。</p> <p>③2021年春期講演大会のテーマセッションとして「LPSO/MFS 構造の材料科学Ⅳ」を提案した。</p>
15	<p>マテリアルズ・インフォマティクス研究部会</p> <p>【開催期間】 令和2年4月-令和6年3月末</p>	<p>データベースを中心としたプロセス・材料組織・材料特性の相互の関係性を機械学習により分析するシステムの検討および開発を行い、これらの技術を軽金属材料の研究・開発に適用することを目指す。尚、本研究部会では実験データの収集・分析に重点を置き、補完的に理論計算を行う。</p>	<p>3回(令和2年4月27日、9月28日、令和3年1月7日)の研究部会を開催。</p> <p>①Webアプリケーションのバージョン管理およびWebアプリケーションのテストを実施するためのクラウドサーバーを上げた。</p> <p>②Webアプリケーションの大まかな構成(データのアップロード、特微量抽出、機械学習の一連の流れを行う部分)は完成した。</p> <p>③分散型データベースを構築するための相互通信機能を新たに追加した。さらに、画像のアップロード、画像処理パラメータの設定、計算結果のアップロードが行えるクライアントサイドアプリの開発を行った。</p>

[5]研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第1項第5号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、(1)および(7)1)を令和2年5月開催の第138回春期大会にて、(2)～(5)および(7)2)を令和2元年11月開催の第139回秋期大会にて表彰を行う予定であったが、コロナのため第

138 回大会は中止、第 139 回大会はオンライン開催となったため授与物送付とした。(6)については、令和 3 年 2 月末に表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など相応しい時期に表彰を託した。

(1)令和 2 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞表彰

前年度の軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会で選考され、理事会で承認された下記 6 名を表彰した。

- | | | |
|------------------|-------------------------|---------|
| 1)第 23 回軽金属学会賞 | 茨城大学 教授 | 伊藤 吾朗 君 |
| 2)第 22 回軽金属学会功労賞 | 北見工業大学 特任教授 | 翰師 守 君 |
| | 昭和電工(株) アルミ圧延品事業部 | 山ノ井智明 君 |
| 3)第 18 回軽金属功績賞 | 熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 教授 | 河村 能人 君 |
| | 名古屋大学 教授 | 小橋 眞 君 |
| | 大阪工業大学 教授 | 羽賀 俊雄 君 |

(2)令和 2 年軽金属論文賞・論文新人賞

北園幸一推薦委員長のもとで論文賞対象論文 34 編の内 6 編、新人賞対象論文 10 編の内 6 編の論文を推薦し、久幸晃二選考委員長のもとで 3 編(23 名)の論文賞、4 名の新人賞を選考した。

1)論文賞

①「3104 アルミニウム合金冷間圧延板の深絞り成形における変形集合組織の発達挙動」

第 69 巻 8 号(2019) 387-392 掲載

- | | |
|-------------------------|---------|
| 株式会社 UACJ(現 住友電気工業株式会社) | 小林 亮平 君 |
| 株式会社 UACJ | 工藤 智行 君 |
| 株式会社 UACJ/産業技術総合研究所 | 田中 宏樹 君 |

②「Effect of Copper Addition on Precipitation Behavior near Grain Boundary in Al-Zn-Mg Alloy」

Materials Transactions, Vol.60 No.8(2019) 1688-1696 掲載

- | | |
|-------------|---------------------|
| 富山大学 | 松田 健二 君 |
| 富山大学大学院 | 安元 透 君 |
| 富山大学大学院 | Artenis Bendo 君 |
| 富山大学 | 土屋 大樹 君 |
| 富山大学 | Seungwon Lee 君 |
| 富山大学 | 西村 克彦 君 |
| 富山大学 | 布村 紀男 君 |
| SINTEF | Calin D. Marioara 君 |
| NTNU | Adrian Lervik 君 |
| NTNU | Randi Holmestad 君 |
| 九州大学 | 戸田 裕之 君 |
| 日本原子力研究開発機構 | 山口 正剛 君 |
| 北海道大学 | 池田 賢一 君 |
| 長岡技術科学大学 | 本間 智之 君 |
| 富山大学 | 池野 進 君 |

③「Al-7.3 mass%Mg 合金の粒界破壊に及ぼす微量 Fe 添加の影響」

第 69 巻 9 号(2019) 457-464 掲載

- | | |
|---------------------|---------|
| 大阪府立大学 (現 日本製鉄株式会社) | 大手 里奈 君 |
| 大阪府立大学 (現 和歌山市役所) | 山田 貴洋 君 |
| 大阪府立大学 | 上杉 徳照 君 |
| 大阪府立大学 | 瀧川 順庸 君 |
| 大阪府立大学 | 東 健司 君 |

2)論文新人賞

①「3104 アルミニウム合金冷間圧延板の深絞り成形における変形集合組織の発達挙動」

第 69 巻 8 号(2019) 387-392 掲載

- | | |
|-------------------------|---------|
| 株式会社 UACJ(現 住友電気工業株式会社) | 小林 亮平 君 |
|-------------------------|---------|

②「5000 系アルミニウム合金板の高精度材料モデリングと穴広げ成形シミュレーションの高精度化」

第 70 巻 6 号(2020) 217-224 掲載

- | | |
|----------------------|---------|
| 東京農工大学大学院(現 ヤマハ株式会社) | 三宅 能安 君 |
|----------------------|---------|

③「Experimental and Numerical Analysis of Magnetic Pulse Forming of A1050 Aluminum Sheet」

Materials Transactions Vol.6 No.2(2020) 346-354 掲載

- | | |
|-----------------------|---------|
| 東京工業大学大学院(現 株式会社 IHI) | 神戸 貴史 君 |
|-----------------------|---------|

④「マグネシウム合金の引張特性に及ぼす結晶粒径の影響」

第 69 巻 7 号(2019) 332-338 掲載

- | | |
|---------------------|---------|
| 茨城大学大学院(現 東北電力株式会社) | 坂岡 優也 君 |
|---------------------|---------|

(3)第 55 回小山田記念賞

今回は応募なく、表彰は行わなかった。

(4)第 43 回高橋記念賞

荒木秀樹選考委員長のもと、各支部からの推薦 6 件について選考委員による書面審査の結果、4 名を選考した。

- | | |
|----------------|---------|
| 日軽エムシーアルミ独法(株) | 川島 衛 君 |
| YKK AP(株) | 高野 和彦 君 |

(株)アーレスティ熊本
昭和電工境アルミ(株)

福田 鉄也 君
吉井 敦也 君

(5)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞

久保田正広選考委員長のもと、3つの賞について審議し、躍進賞は応募3名の候補者のうち3名を、奨励賞は4名の候補者のうち2名を、女性未来賞は1名の候補者を選考した。

- | | | |
|----------------|------------------------|-------------------------------|
| 1)第19回軽金属躍進賞 | 山形大学
近畿相学
東京工業大学 | 久米 裕二 君
仲井 正昭 君
原田 陽平 君 |
| 2)第38回軽金属奨励賞 | 九州大学
同志社大学 | 平山 恭介 君
湯浅 元仁 君 |
| 3)第12回軽金属女性未来賞 | 芝浦工業大学 | 芹澤 愛 君 |

(6)令和2年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦34名について、総務委員会による二次選考の結果、34名全員を選考した。

所属	氏名	所属	氏名
北海道大学大学院	橋本 拓也 君	千葉大学大学院	酒井 高志 君
旭川工業高等専門学校専攻科	辻 湧貴 君	宇都宮大学大学院	笠原 光 君
東北大学大学院	増田 行矩 君	長岡技術科学大学大学院	大橋 秀亮 君
群馬大学大学院	大橋 政孝 君	長岡技術科学大学大学院	森 陽一朗 君
群馬大学大学院	安藤 瑞季 君	千葉工業大学大学院	安川 直孝 君
茨城大学大学院	木内 智也 君	富山大学大学院	天野 正規 君
茨城大学大学院	木村健太郎 君	富山大学大学院	高本 健吾 君
茨城大学大学院	檜山 佳祐 君	名古屋大学大学院	相川 宗也 君
茨城大学大学院	米村 柊輝 君	名古屋工業大学大学院	久田 慶 君
日本大学大学院	宮崎 泰輔 君	大阪大学大学院	上山 椋平 君
日本大学大学院	熊谷 祐太 君	大阪大学大学院	寺前 拓馬 君
早稲田大学大学院	澤田 万尋 君	大阪府立大学大学院	望月 喬史 君
横浜国立大学大学院	豊島 高彬 君	兵庫県立大学大学院	吉川 友貴 君
芝浦工業大学大学院	長島 悠真 君	広島大学	森岡 滉史 君
東京都立大学大学院	大森 健司 君	熊本大学大学院	宮野 遥 君
東京農工大学大学院	小笠原 柚 君	九州大学大学院	小川 諒太 君
東京大学大学院	浦川 裕翔 君	九州大学大学院	徳澄 翼 君

(7)優秀ポスター発表賞、優秀英語ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈る賞で、今年度は、春期大会は開催中止となり、以下の通り、秋期大会で10名を表彰した。このうち、第135回秋期大会より新設した優秀英語ポスター発表賞は1名を表彰した。

- 1)第138回春期大会 新型コロナウイルス感染対策のため中止
2)第139回秋期大会

題目	所属	氏名
ミルフィーユ型マグネシウム合金の塑性変形挙動	大阪大学(院)	上山 椋平 君
亜臨界水中で時効処理を行った Al-Cu 合金の表面特性	大阪工業大学(院)	北村 暁之 君
7075-T6 アルミニウム合金の破断時の水素放出現象に及ぼす応力集中の影響	大阪大学(院)	菅原 拓馬 君
Al-Mg-Si 合金上に作製した耐食性皮膜の引張応力下におけるき裂進展および破壊挙動の解明	芝浦工業大学(院)	伊藤 友佑 君
マグネシウムの塑性異方性改善に向けたアルミニウムおよびジルコニウムの共添加効果	神戸大学(院)	妹尾 和樹 君
蒸気コーティング法を用いた Al-Zn-Mg 合金上への導電性を有した耐食性皮膜の作製	芝浦工業大学(院)	武藤 拓 君
低加速電圧 SEM 像のコントラストを利用した 6063 アルミニウム合金鑄塊における晶出物の識別	JFE テクノリサーチ	有田 竜馬 君
マグネシウム圧延材の塑性変形に対する添加元素および圧延集合組織の影響	熊本大学(院)	宮野 遥 君
Mg-Zn-Ca-Al-Mn 合金圧延板材の諸性質に及ぼす亜鉛およびカルシウム添加量の影響	長岡技術科学大学(院)	菊池 海斗 君
英語: Microstructural Characterization of a Hypereutectic Al-Fe Binary Alloy Fabricated by Laser Powder Bed Fusion	名古屋大学(院)	王 文苑 君

(8)令和3年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

岡本一郎選考委員長のもと、3つの賞について審議の結果、学会賞は1名の候補者を、功労賞は1名の候補者を、功績賞は6名の候補者のうち3名をそれぞれ下記のとおり選考した。表彰は令和3年5月開催の第140回春期大会にて行う予定であったが、コロナ対策のためオンライン開催となったため、授与物送付とした。

- 1)第24回軽金属学会賞 関西大学 教授 池田 勝彦 君
2)第23回軽金属学会特別功労賞 日産自動車(株) シニアエキスパート

3)第 19 回軽金属功績賞	現日本鑄造工学会 事務局次長 茨城大学 教授 東京工業大学 准教授 千葉工業大学 教授	神戸 洋史 君 倉本 繁 君 小林 郁夫 君 本保元次郎 君
----------------	--	---

(9)令和 2 年軽金属学会企業奨励賞

本賞は平成 26 年度より支部表彰していたものを平成 28 年度より本部表彰とするもので、各支部における軽金属に関する研究、技術開発、商品開発等において優れた業績を残した維持会員に贈る賞で、今回は応募なく、表彰は行わなかった。

[6]その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第 4 条 1 項第 6 号)

1. 人材育成

本部において、昨年同様、大学オープンキャンパスへの軽金属製品の供与・貸与事業を実施し、小中高生、教師、父兄への軽金属製品啓蒙を行った。今回も維持会員企業、日本アルミニウム協会の協力を得て、自動車用大型部品(フード、シリンドラブロック等)貸与を追加し、5校に製品提供し、各校の開催報告記事「はぐくむ」を会誌、HPに掲載した。また、軽金属製品・産業への興味を若い世代へ広げる活動として、主に軽金属材料を使用した科学実験事例をHPで紹介する軽金属啓蒙活動「軽金属科学実験室」を継続した。男女共同参画委員会では男女共同参画学協会連絡会が後援する「女子中高生夏の学校2020～科学・技術・人との出会い～」に参加し、約100名の女子中高生の進路相談に応じた。この他、日本産業技術教育学会が主催する第23回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテストはコロナのため審査実施できず、表彰を中止した。本事業は平成19年から実施し、これまで14作品(個人・団体)を表彰している。

また、各支部においても、学生会員を対象とした講演会、ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。コロナのため対面開催に代わり、WEB開催、メール審査などの方法を利用して実施した。

2. 男女共同参画委員会(若手の会、女性会員の会)

(1)若手の会

第38回会合:第138回春期大会中止のため中止した。

第18回若手育成のための合同会合:第138回春期大会中止のため中止した。

第39回会合:第139回秋期大会第2日目(11月8日)にWEB会議を利用し実施。参加者21名(うち大学5名、学生4名)。話題提供と質疑応答。

第19回若手育成のための合同会合:第139回秋期大会オンライン開催のため中止した。

(2)女性会員の会

第28回会合:第138回春期大会中止のため中止した。

第19回託児室設置:第138回春期大会中止のため設置を中止した。

第29回会合:第139回秋期大会第1日目(11月7日)にWEB会議を利用し実施。参加者20名(うち男性応援9名)。

第20回託児室設置:第139回秋期大会オンライン開催のため設置を中止した。

(3)男女共同参画委員会

第3回男女共同セッション:第139回秋期大会第1日目(11月7日)に大会WEB会場を利用し、「最近の上司と部下のコミュニケーション」と題した講演会を実施した。三菱アルミニウム(株)鈴木貴史氏の「研究者へ成長する過程での体験」とYKK(株)の櫻木卓也氏の「私が大切にしたい事等」の講演を実施し、会員に情報提供と議論の場を提供した。

3. 中堅企業R&D支援

二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」の一環として、無料講演会、イブニングセミナー、相談会などの行事を各支部でWEB会議を利用し実施した。本部では軽金属セミナーを録画したDVDの無料貸出を実施し、会員サービス向上による会員基盤増強を図った。また、オンライン開催した秋期大会においては、ユーザー企業参加促進策として、川崎重工業(株)の石川 力氏の「航空機用金属材料の加工・接合技術」、(株)UACJの森久史氏の「高速鉄道車両への軽金属材料の適用」の企業招待講演を実施し、技術交流の場を提供した。

4. 支部活動

(1) 北海道支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部理事会・支部評議員会(2回) ②第 140 回春季講演大会実行委員会キックオフ 2.講演会等 ①中堅企業支援セミナー (苫小牧/札幌) ②支部講演大会 R2.4.17 (札幌)、7月(札幌)、1月(室蘭) ③講演会 北海道大学共催 3.人材育成 ・若手育成支援事業(2.③で計画予定) 4.表彰関係 ・学生優秀講演賞 ・軽金属希望の星賞一次選考、推薦	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①令和 2 年 7 月 10 日開催, 令和 2 年 12 月 11 日開催 ②令和 2 年 9 月 8 日 WEB 開催 2.講演会等 ①コロナ禍の影響により中止。 ②共催講演大会:4 月 19 日開催予定もコロナ禍で中止、7 月中止。1 月 WEB 開催。 ③コロナ禍の影響により中止。 3.人材育成 コロナ禍の影響により中止。 4.表彰関係 ・なし。 ・軽金属希望の星賞 2 名受賞。

5.維持会員加入勧誘活動 ・訪問活動継続	5.維持会員加入勧誘活動 ・勧誘継続も進展なし。
<p>特記事項)</p> <p>1 第 140 回春期大会がコロナ禍によりリモート開催となったことで実行委員会メンバーが運営委員会を補助することを決定。</p> <p>2-②支部講演大会(鑄造工学会との共催)の中止を受け、1月に協賛講演大会が実施されたことで、本講演大会で発表。ただし、協賛のため学生優秀講演賞は授与せず。全講演 29 件中、4 件が軽金属関連。</p> <p>2-①、③、3 は実施の目処たらず。</p> <p>4-③軽金属希望の星賞:北海道大学大学院:橋本拓也君、旭川高専専攻科:辻湧貴君受賞。</p>	

(2)東北支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会(2回) 11月、3月 2.講演会等 ①主催講演会(2回) ②共催・後援行事(4回) 3.人材育成 若手育成支援事業 ポスターセッション 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③軽金属学会賞推薦 ④軽金属学会功労賞推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ①イブニングセミナー開催 ②軽金属学会企業奨励賞推薦	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 11/16、3/8にオンラインで役員会を開催 2.講演会等 ①主催講演会(2回) 第1回 福島県で9月開催を検討したが中止。 第2回 3月8日オンライン開催。 ②共催・後援行事(4回) 全て中止。 3.人材育成 例年通り開催を検討したが中止。 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 推薦なし ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦、1件受賞 ③軽金属学会賞推薦 推薦なし ④軽金属学会功労賞推薦 推薦なし 5.維持会員加入勧誘活動 ①3月8日 イブニングセミナーをオンライン開催 ②軽金属学会企業奨励賞は推薦なし
<p>特記事項)</p> <p>2-① 2回のうち1回はイブニングセミナー(3月8日)</p> <p>5-① 中小企業支援事業、若手育成支援事業補助金は申請せず実施。マグネシウムをテーマに4件の依頼講演を行った。</p>	

(3)関東支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部総会(1回)、 ②支部運営委員会(4回) 2.講演会等 ①第139回秋期大会(都立大学)の実行援助 ②工場見学会 3.人材育成 ①若手研究者講演発表会 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ①セミナーや訪問活動を継続	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①8月28日 ハイブリッド方式開催(対面、メール審議)) ②第1回 令和2年4月20日 メール開催 第2回 令和2年8月7日 メール開催 第3回 令和2年12月3日 オンライン開催 第4回 令和3年3月23日 オンライン開催 2.講演会等 ①オンライン開催へ変更 実行委員会は解散 ②コロナ禍のため受入れ企業が見つからず、中止 3.人材育成 ①8月28日 第7回若手研究者ポスター発表会を、インターネットを介して実施 4.表彰関係 ①今年度は該当者なし ②日産自動車(株) 神戸洋史氏受賞(現日本鑄造工学会) ③12月3日 第3回支部運営委員会で19名推薦、受賞。 5.維持会員加入勧誘活動 ①中堅企業支援として第35回軽金属セミナー「マグネシウム合金の基礎技術(第4回)」東京開催を共催で実施予定であったが、コロナ禍のため、次年度に延期した。
<p>特記事項)</p> <p>3-①若手研究者講演発表会については、既に開催報告を支部便りとして出版されている(2020年10月号)</p>	

(4)北陸支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合

①定例幹事会(2回) 2.講演会等 ①春期講演会 6月8日 ②秋期講演会 3.人材育成 ①幹事研修会 ②若手育成支援事業 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 5.維持会員加入勧誘活動	①4月14日、9月9日 メール会議 2.講演会等 ①来春へ延期 ②中止 3.人材育成 ①中止 ②中止 4.表彰関係 ①推薦なし ②推薦なし ③2名推薦、受賞 天野正明君、高本健吾君 5.維持会員加入勧誘活動 随時実施
特記事項) 協賛事業 ①日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部 (12月4、5日) ②富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT) (9月28日～10月8日:online) ③富山大学材料研究会 (2月4日)	

(5)東海支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①総会 ②理事会(3回、但し第1回は運営委員会と兼務) 2.講演会等 ①講演会(1回) 4月23日 ②研究部会(航空機材料部会) 3.人材育成 ①若手ポスター発表会 11月12日 ②若手の会(軽進会) ③女性会員の会 ④中・高生向け工場見学会 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③企業奨励賞推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ①支部セミナー 2月26日 ②TECH Biz 2021 :支部活動展示、講演会	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①4月23日に資料をメール配信 ②9月16日に運営委員会を兼ねて資料メール配信 1月15日に第2回理事会として資料メール配信 2.講演会等 ①総会時に実施予定だったが中止 ②5083-O の残留応力測定完了。次は焼入材を予定していたが、その後進捗なし 3.人材育成 ①日本金属学会・日本鉄鋼協会と共催で web 開催 ②コロナ状況により、中止 ③コロナ状況により、中止 ④コロナ状況により中止 4.表彰関係 ①日軽エムシーアルミから推薦、受賞。 ②名古屋大、名古屋工業大から各1名推薦、2名受賞。 ③推薦なし 5.維持会員加入勧誘活動 ①web 開催・・・特記事項に詳細 ②コロナの影響で中止。
特記事項) 5-① 自動車のマルチマテリアル化の最新動向 【講演内容】 ・AI-鋼冷間後方押し鍛造接合特性および加工条件の影響 ・神戸製鋼の取り組む自動車のマルチマテリアル化 ・自動車構造用材料の現状と今後 応募はほぼ定員に近い 87 名となった。当日の参加者は 70 名程度。大きなトラブルもなく終了。予想はしていたが、WEB 開催のため、質疑は低調だった。参加者にアンケートを送付し、19 件回収できた。今後の企画の参考とする。	

(6)関西支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部理事会(2回) ②支部幹事会(2回) 2.講演会等 ①支部シンポジウム ②オンライン研究会 オンライン開催 3.人材育成 ①関西軽金属サマースクール	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①②9月25日開催 ZOOM を用いて開催。令和2年度支部 役員・支部事業などを議論 2.講演会等 ①新型コロナウイルス感染拡大のため中止 ②第1回 2月2日 参加者 33名 第2回 2月26日 参加者 34名 第2回 3月5日 ビデオ上映 参加者 12名 3.人材育成 ①中止

②若手研究者・院生による研究発表会 ③大学院生フィールドワーク助成プログラム 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④企業奨励賞 ⑤軽金属学会賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①勧誘活動継続 ②出前講座	②中止 ③中止 4.表彰関係 ①2名推薦 吉井敦也君受賞 ②推薦なし ③4名推薦、受賞。 上山椋平君(大阪大)、寺前拓馬君(大様大)、 望月喬史君(大阪府立大)、吉川友貴君(兵庫県立大) ④推薦なし。 ⑤池田勝彦君推薦、受賞。 5.維持会員加入勧誘活動 ①継続的に勧誘している。 ②堺市産業振興センターと一緒に、中堅企業向けの軽金属セミナーを、ZOOM を用いて開催することを計画していたが、大阪府に緊急事態宣言発出のため中止。
特記事項) 2.講演会等 ②第1回オンライン研究会 「アルミニウムのサプライチェーンにおけるサステナビリティへの取り組みについて」 リオティントジャパン 小原雄一郎氏 ③第2回オンライン研究会 「結晶方位分布関数(ODF)による立方晶金属の曲げ性と深絞り性の同時予測」 大阪府立大学 井上博史先生 ④第2回オンライン研究会ビデオ上映 「結晶方位分布関数(ODF)による立方晶金属の曲げ性と深絞り性の同時予測」 大阪府立大学 井上博史先生	

(7)中国四国支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会 2.講演会等 ①第12回支部講演大会(鳥取大学) ②研究会(2回) 3.人材育成 ①若手フォーラム及び高校生のポスター発表 4.表彰関係 ①軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ②支部賞(優秀講演賞、研究・開発奨励賞、技術賞、奨励賞)選考・授与 5.維持会員加入勧誘活動 中小企業支援事業、講演会を開催。	1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①10月1日開催 リモート開催 2. 講演会等 ①11月28日開催 リモート開催 参加者 49名 ②12月9日開催 リモート開催 参加者 30名 3. 人材育成 ①12月18日開催 リモート開催 参加者 21名 4. 表彰関係 ①1名推薦、広島大学 森岡滉史君受賞。 ②上記 2-①において、優秀講演賞を 6 件授与、支部奨励賞 12 件授与。 5. 維持会員加入勧誘活動
特記事項) 2-②「支部研究会」 「B型チタン合金の予想できない変態挙動」 岡山大学 竹元嘉利氏 「低コスト製造プロセス適用型のBチタン合金の設計」 広島大学 衛 天陽氏 「Ti-Mo合金の相分解挙動に及ぼす酸素添加効果」 愛媛大学 堀口智弘氏 「チタンとチタン合金の積層造形および高強度化」 鳥取大学 大津 彬氏 3-①「若手フォーラム」 「Co基合金の電子構造計算を用いた設計と形状記憶能をはじめとした特性評価」 広島大学 中畑祐二君 「<110>傾角Σ3,3,9三重線を有する純銅および純アルミニウム三重結晶のクリープ破壊」 徳島大学 中尾和輝君 「炭素繊維/アルミニウム複合材料の作製と特性評価」 広島大学 小林 開 君 「Ti-25Nb合金の準安定α'相とω相に熱処理条件の変化が及ぼす影響」 香川大学 伊井 杏 君 「熱間押し出しによるAl/Mg ₂ Si複合材料の作製と評価」 鳥取大学 石井智也君 「LPSOからの圧力相転移で発生するD03/hcp二相組織の形成過程と機械特性の研究」 愛媛大学 川端勇輝君 「Ti-15Nb-10合金の焼入れ組織形成に及ぼす溶体化処理条件の影響」 愛媛大学 小林舞衣君	

(8)九州支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会(2回) ②例会(2回) 2.講演会等 ①合同学術講演会共催	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①②第103回役員会・例会 10月23日 九州大学 ①②第104回役員会・例会 2月24日 アーレスティ熊本 2.講演会等 ①中止

<p>3.人材育成 ①若手研究発表会 ②中堅企業支援支部セミナー</p> <p>4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④合同学術講演会講演大会若手ポスター賞表彰</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 訪問活動継続</p>	<p>3.人材育成 ①10月23日 ②10月23日、2月24日</p> <p>4.表彰関係 ①2名推薦、受賞 ②推薦なし ③3名推薦、受賞 ④中止</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 活動継続(メール)</p>
<p>特記事項)</p> <p>第103回例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンクロトン光による材料欠陥イメージング技術とアルミニウム水素脆化への応用 ・産業用 X 線 CT による金属製造欠陥の 3D イメージング:基礎と応用 ・産業用高速 X 線 CT によるアルミニウム鋳巣のオンライン全数検査 <p>第104回例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属の疲労破壊の基礎と研究動向 ・機械学習による軽金属のミクロ組織評価 ・二輪車製造における X 線 CT 装置活用事例 	

岩手大学
東芝 IT
アイシン軽金属

清水一行氏
富澤雅美氏
川波麻世氏

九州大学
広島大学
ヤマハ発動機

濱田 繁 氏
杉尾健次郎氏
鈴木誠也氏

II. 処務の概況

[1] 役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の開始時)	報酬	担当 *: 委員長	現職名
代表理事・ 会長	岡本 一郎	非常勤	令和元年 5 月 10 日		なし	組織 *	日本軽金属(株)代表取締役社長
代表理事・ 副会長	高山 善匡	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	総合計画 *	宇都宮大学教授
同上	荒木 秀樹	同上	平成 29 年 5 月 20 日		同上	支部 * 総合計画	大阪大学教授
理事	北蘭 幸一	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	編集 *	東京都立大学教授
同上	熊井 真次	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	国際 *	東京工業大学教授
同上	小橋 眞	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	総務、国際	名古屋大学教授
同上	斎藤 尚文	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	企画 編集	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 軽量金属設計グループ 上級主任研究員
同上	坂入 正敏	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	企画、総務	北海道大学准教授
同上	佐藤 裕之	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	大会	弘前大学教授
同上	柴柳 敏哉	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	男女共同 参与会	富山大学教授
同上	戸田 裕之	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	研究、支部	九州大学教授
同上	中山 栄浩	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	大会 *	山梨大学教授
同上	春名 匠	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	研究	関西大学教授
同上	日野 実	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	大会、編集	広島工業大学教授
同上	御手洗容子	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	男女共同 *	東京大学教授
同上	足高 善也	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	国際交流	東洋アルミニウム(株)執行役員 先端技術本部 技術戦略部長
同上	穴見 敏也	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	参与会 * 国際	日本軽金属(株)技術・開発グループ 管理部長
同上	増田 勝昭	同上	令和 2 年 5 月 22 日		同上	企画 研究	株神戸製鋼所 鉄鋼アルミ事業部門 技術企画部 部長
同上	宇野 清文	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	総務 大会	三協立山(株) 技術統括室 技術開発部長
同上	橋内 透	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	企画 *	ヤマハモーターエレクトロニクス(株) 代表取締役社長
同上	小山 克己	同上	平成 27 年 5 月 16 日	令和元年 5 月 10 日	同上	総務 *	株UACJ 技術部主幹
同上	中沢 靖	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	総務 研究	株本田技術研究所 オートモービルセンター主任研究員
同上	久幸 晃二	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	編集	昭和電工(株) 融合製品開発研究所 副所長
同上	戸次洋一郎	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	研究 *	株UACJ R&D センター 第 1 研究部 上席主幹
同上	山口恵太郎	同上	平成 27 年 5 月 16 日	令和元年 5 月 10 日	同上	男女共同 大会	三菱アルミニウム(株) 研究開発部長
監事	神戸 洋史	同上	平成 29 年 5 月 20 日	令和元年 5 月 10 日	同上	監事	日本鑄造工学会 事務局次長
同上	池田 勝彦	同上	令和元年 5 月 10 日		同上	同上	関西大学教授

[2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	石川和徳	常勤	平成 25 年 1 月 1 日	全般	平成 25 年 6 月 1 日就任
職員	前田その美	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	庶務	
職員	木村明子	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	編集	
職員	中村秀樹	非常勤	平成 28 年 2 月 1 日	経理	

[3]会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和2年度 定時総会 議決権行使 出席938名 会員数 1,514名	2年5月22日	1. 令和元年度事業報告に関する件(報告事項) 2. 令和元年度決算報告に関する件(審議事項) 3. 令和2年度事業計画の件(報告事項) 4. 令和2年度収支予算に関する件(報告事項) 5. 会費規程改定に関する件(審議事項) 6. 令和元年・2年度役員の補充選任に関する件(審議事項)	1. 賛成936名、原案通り確認。 2. 賛成937名、原案通り承認可決。 3. 賛成936名、原案通り確認。 4. 賛成936名、原案通り確認。 5. 賛成934名、原案通り承認可決。 6. 賛成935名、原案通り承認可決。

2. 理事会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第69回	2年4月22日	【審議事項】 1. 令和2年度定時総会に関する件 ①令和元年度事業報告に関する件 ②令和元年度決算報告に関する件 2. 定時総会開催に関する件 3. 支部長交代に関する件 4. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 他学会との協賛事業の件 2. 常設委員会報告 3. その他	【審議事項】 1. 全員異議なく承認可決。 2. 議決権行使をはがき、Googleフォームを併用した表決で実施、理事会メンバーのみ参加方式で開催を承認。 3. 東海支部長交代を承認。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全員異議なく、確認した。 2. 男女共同参画、研究、企画、総合計画委員会報告。 3. 新型コロナウイルス感染防止のため中止した支部行事予算の翌年繰越協議、第139回秋期大会開催を確認。
第70回	2年6月25日	【審議事項】 1. 軽金属躍進賞、奨励賞、女性未来賞選考に関する件 2. 第140回春期大会実行委員会委員構成案および予算書案に関する件 3. 規程類の改定 4. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 第138回春期大会収支決算報告 2. 他学会との協賛事業に関する件 3. 常設委員会報告 4. その他 ・第23回エネルギー利用技術作品コンテストの件 ・熊本大学への「先進軽金属材料国際研究機構」設置要望書提出の件	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 大会規程、Mater.Trans.投稿規程を全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全員異議なく、確認した。 2. 全員異議なく、確認した。 3. 国際交流、大会運営、総務、編集、支部長会、研究委員会報告。総合計画は70周年記念事業計画報告。 4. 資料に基づき報告。 ・オンライン開催、学会表彰中止
第71回	2年9月29日	【審議事項】 1. 軽金属論文賞・論文新人賞、高橋記念賞に関する件 2. 規程改定に関する件 3. 会員異動に関する件 4. 常設・選考委員会委員変更の件 【報告事項】 1. ICAA18進捗報告 2. 70周年記念事業進捗 3. 他学会との協賛事業に関する件 4. 7月・9月の常設委員会報告	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 名誉会員、永年会員規程改定を全員異議なく承認可決。 3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 男女共同、総務、国際交流、大会運営、編集委員会から報告。

第 72 回	2 年 11 月 2 日	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 24 回軽金学会賞に関する件 2. 第 23 回軽金属学会功労賞に関する件 3. 第 19 回軽金属功績賞に関する件 4. 中間決算・監査報告 5. 第 140 回春期大会オンライン開催に関する件 6. 規程改定に関する件 7. 会員異動・選考委員交代に関する件 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支部中間活動報告 2. 他学会との協賛事業に関する件 3. 10 月開催常設委員会報告 4. ICAA18 進捗報告 5. 70 周年記念事業進捗報告 	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。講演申込費無料化、参加費 2,000 円値上げを承認可決。 6. 会員規程、「軽金属」投稿規程改定を原案の通り全員異議なく承認可決。 7. 原案の通り全員異議なく承認可決。 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。 5. 資料に基づき報告。
第 73 回	3 年 1 月 20 日	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属希望の星賞選考に関する件 2. 永年会員推薦に関する件 3. 研究部会新設、1 年延長の件 4. 令和 3 年度支部費配賦額に関する件 5. 各種規程類の改定に関する件 6. 会員異動、支部長、委員交代に関する件 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 139 回秋期大会収支報告の件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件 4. その他 	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 総合計画委員会規程改定案を全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. ICAA18、70 周年記念事業進捗、常設委員会出席率を報告。
第 74 回	3 年 2 月 16 日	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 3 年度特別維持会員会費に関する件 2. 令和 3・4 年度役員候補に関する件 3. 創立 70 周年記念事業に関する件 4. ICAA18 開催に関する件 5. 令和 3 年度定時総会開催に関する件 6. 第 141 回秋期大会実行委員会構成、予算書に関する件 7. 会員異動、支部長交代に関する件 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 2 年度収支決算見込みおよび令和 3 年度予算案に関する件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件 4. 熊本大学・富山大学「先進軽金属材料国際研究機構」共同利用・共同研究拠点化に関する要望書 5. 令和 3 年度理事会日程に関する件 	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 7. 原案の通り全員異議なく承認可決。 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全異議なく予決算案を確認した。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告、要望書提出。 5. 資料に基づき報告。
第 75 回	3 年 3 月 26 日	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 3 年度事業計画に関する件 2. 令和 3 年度収支予算に関する件 3. 令和 3・4 年度役員担当変更に関する件 4. 規程の改定に関する件 5. 会員異動に関する件 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支部令和 2 年度活動報告および令和 3 年度活動計画について 2. 研究部会令和 2 年度事業報告および令和 3 年度事業計画について 	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 英語ポスター審査一本化に関する規程を全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全員異議なく、確認した。 2. 全員異議なく、確認した。

		3. 他学会との協賛事業の件 4. 常設委員会報告の件	3. 全員異議なく、確認した。 4. 資料に基づき報告。
--	--	--------------------------------	---------------------------------

3. 常設委員会

(1)総合計画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第6回	2年4月22日	1. 令和元年度決算および令和2年度予算案について 2. 総合計画委員会活動課題の進め方 ①会員増強 WG: 会費改定に関する件 ②70周年記念事業について: 事業概要案見直し ③総会開催について 3. 常設委員会令和元年度活動まとめと令和2年度活動計画 ①活動計画・実績表、活動まとめ報告 ②課題追加の有無、委員会連携事項確認	1. 原案のとおり確認。 2. 理事会上申内容を確認。 ①会費改定趣旨を確認。 ②祝祭的行事廃止の内容に修正。 ③議決権行使方式での開催を確認。 3. 令和元年度活動まとめ内容を確認し、令和2年度活動課題を確認。事務局要望を確認。
第7回	2年6月25日	1. 70周年記念事業について 2. WEB活用について	1. 記念事業企画 WG を設置し、オンラインイベント、冠イベント、記念広報(記念特設WEBサイト、ロゴ、70年史)、会員増強、人材育成を追加した記念行事再検討を計画。 2. 常設委員会など WEB 会議併用を継続することとした。第139回秋期大会のオンライン開催検討中。
第8回	2年11月2日	1. 支部活動中間報告(中堅企業支援活動状況) 2. 上期決算報告 3. 令和3年度支部費配賦案 4. 総合計画委員会課題進捗 ①総務委員会会費規程改定検討の件 ②70周年記念事業 ③ICAA18準備状況	1. 九州支部からオンライン事業報告。 2. 決算内容確認。 3. 配賦案承認。今後支部長合意確認。支部留保削減のための支部共通枠への振替、70周年記念事業助成も含め予算作成。 4. 下記報告。 ①若手会員、シニア会員への会費減額自己申告に経過措置を適用し、申告簡略化検討。 ②記念事業企画 WG 傘下の各 WG 委員決定、事業内容、予算作成中。 ③公式 HP 公開、ICAA17 での富山紹介、バーチャル会場状況調査
第9回	3年1月20日	1. 総合計画委員会課題進捗 ①活動まとめ ②70周年記念事業第4回 WG ③ICAA18準備状況 2. 引継事項に関する依頼事項 3. 常設委員会出席率	1. 年間活動まとめを実施。70周年記念事業は式典・表彰、特設 HP サイト、記念ロゴなど進捗報告、ICAA18はオンライン開催判断時期検討中。 2. 3月末提出依頼。 3. 12月までの出席率報告。
第10回	3年2月16日	1. 令和2年度決算予測および令和3年度予算案について 2. 70周年記念事業理事会上申内容 3. ICAA18事業理事会上申内容 4. 会費減額・会誌送付意向確認結果	1. 全異議なく予決算案を確認した。 2. 会員増強キャンペーン制度内容見直しの上、原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 289件の回答内容を確認。
第11回	3年3月26日	1. 令和3年度事業計画・予算案(第2次) 2. 支部令和2年度活動報告と令和3年度活動計画 3. 総合計画委員会引継事項協議 4. 著作物の在り方検討 WG 報告	1. 原案のとおり確認。 2. 8支部報告を確認。 3. 常設委員会引継事項との調整を4月に実施。 4. 引継内容を確認。

(2)総務委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 288 回	2 年 5 月 19 日	1. 人材育成検討 WG 報告 ・軽金属科学実験事例の拡充 ・高度人材育成事業 ・ライトメタルリクルート、インターンシップ募集 ・令和 2 年度製品供与・貸与事業 ・新事業検討 2. 規程・会員特典 WG 報告 ・70 周年記念行事について ・大会規程改定案 3. HP・広報 WG 報告 ・和英ホームページメンテナンス方法の検討	1. 下記実施事項検討。 ・3 件提案を HP 掲載準備。 ・141 回大会実施、アンケート予定。 ・アンケート実施見合わせ。 ・5 名応募に対応。 ・高校生ポスター発表検討。 2. 下記実施事項検討。 ・式典内容、記念 HP 特設サイト、ロゴ検討。 ・一部修正し、承認。 3. 下記実施事項検討。 ・常設委員会へチェック依頼。
第 289 回	2 年 7 月 20 日	1. 人材育成検討 WG 報告 ・高度人材育成事業 ・ライトメタルリクルート、インターンシップ募集 ・新事業検討 2. 規程・会員特典 WG 報告 ・70 周年記念行事について ・会費改定の周知について ・会員規程規程改定案 ・永年会員規程改定案 ・託児室マニュアル ・会員管理システム更新 3. HP・広報 WG 報告 ・和英ホームページメンテナンス状況 ・HP 魅力度アップ	1. 下記実施事項検討。 ・学生へのヒアリング実施後再検討。 ・アンケート 9 月以降実施。 ・小中学生はミニ実験、高校生はポスター発表を 140 回春期大会時開催。 2. 下記実施事項検討。 ・オンラインイベント案検討。 ・意向確認書内容について再検討。 ・特典追記について再検討。 ・承認。 ・コロナ対応追加検討。 ・検討状況報告。12 月完成予定。 3. 下記実施事項検討。 ・3 委員会が修正実施。他へ再依頼。 ・動画掲載を検討。
第 290 回	2 年 9 月 15 日	1. 人材育成検討 WG 報告 ・高度人材育成事業 ・ライトメタルリクルート、インターンシップ募集 ・新事業検討 2. 規程・会員特典 WG 報告 ・投稿規程改定 ・「軽金属」担当編集委員用審査要領 ・Materials Transactions, Manuscript Instructions ・英訳または和訳投稿における注意事項 ・Materials Transactions, Guide for Authors ・会員規程改定案 ・会費規程改定の会員アナウンスと意向確認 ・名誉会員規程改定案 ・永年会員規程改定案 ・70 周年記念式典 3. HP・広報 WG 報告 ・和英ホームページメンテナンス状況 ・70 周年記念 HP ・HP 魅力度アップ	1. 下記実施事項検討。 ・企業、学側 WG で方向性検討。 ・アンケート実施し、10 月末方針決定。 ・高校生はポスター発表を 141 回秋期大会時開催検討。 2. 下記実施事項検討。 ・承認。 ・承認。 ・承認。 ・承認。 ・承認。 ・特典追記。 ・共通様式で案内、自己申告削除を検討。 ・承認。 ・承認。 ・141 回秋期大会で式典実施。記念表彰、授与物(通年表彰含め)、予算検討。 3. 下記実施事項検討。 ・未実施委員会へ再依頼。 ・4 月オープン、順じコンテンツ掲載、12 月に式典コンテンツ掲載。 ・製造動画掲載を検討。
第 291 回	2 年 11 月 16 日	1. 人材育成検討 WG 報告 ・高度人材育成事業 ・ライトメタルリクルート、インターンシップ募集 2. 規程・会員特典 WG 報告 ・会費規程改定の会員アナウンスと意向確認	1. 下記実施事項検討。 ・141 回秋期大会男女共同セッション企画、企業候補者選任予定。 ・アンケート結果報告。3 月 1 日掲載。 2. 下記実施事項検討。 ・自己申告について経過措置を適用し、減額不要、会誌「軽金属」不要を申請す

		<ul style="list-style-type: none"> ・70周年記念式典 3. HP・広報 WG 報告 ・70周年記念 HP ・記念ロゴ ・HP 魅力度アップ、HP 修正 	<ul style="list-style-type: none"> る内容で会告、グーグルフォーム準備。 ・式典、表彰内容、予算報告。 3. 下記実施事項検討。 ・YouTube 利用検討。 ・業者打ち合わせ結果報告。 ・継続検討。
第 292 回	3 年 1 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人材育成検討 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・中高生ポスター発表 ・高度人材育成事業 ・ライトメタルリクルート募集 ・製品供与・貸与事業 2. 規程・会員特典 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・会費減額、会誌送付意向確認状況報告 ・総合計画委員会規程改定 ・推薦書等押印省略、メール提出の良否協議 3. HP・広報 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・70周年記念 HP ・記念ロゴ ・HP 修正 4. 70周年記念式典について <ul style="list-style-type: none"> ・式典内容 ・表彰内容・選考方法 ・表彰授与物(70周年表彰と例年表彰) ・予算案 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度軽金属希望の星賞 2 次選考 ・永年会員候補者 ・引継事項 ・委員会出席率 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・141 回秋期大会開催予定。 ・男女共同セッション企画。 ・募集開始。3 月 1 日掲載。 ・製品見直し実施。 2. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・途中報告。170 名回答。 ・男女共同企画委員長追加。 ・押印省略実施、メール提出は後日書面送付を条件に実施。 3. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・トップページ、写真年表案。 ・G 投票結果報告。 ・研究委員会修正報告。 4. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・式典・表彰 1 時間。 ・各賞内容、最優秀希望の星賞案。 ・別途業者と調整。 ・100 万円概算。 5. 下記報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・34 名承認、理事会上申決定。 ・2 名承認、理事会上申決定。 ・3 月末提出。 ・内容確認。
第 293 回	3 年 3 月 15 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人材育成検討 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ライトメタルリクルート ・製品供与・貸与事業 ・中高生ポスター発表 ・高度人材育成事業 2. 規程・会員特典 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・英語ポスター賞審査一本化 ・会費減額、会誌送付要否意向確認 3. HP・広報 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・70周年記念 HP ・記念ロゴ ・パンフレット改訂 4. 70周年記念式典について <ul style="list-style-type: none"> ・表彰内容・選考方法 ・表彰授与物(70周年表彰と例年表彰) 5. 70周年記念会員増強キャンペーン 6. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・引継事項 ・会員管理システム更新状況 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・27 社掲載。 ・会告案内文作成。要望追記。 ・141 回秋期大会で甲府近隣高校へ勧誘。 ・ドクター講師のセッション企画。 2. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・関連規程改定。 ・減額不要、送付不要者数集計。 3. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真年表は右側年代表示と決定。 ・プラン A に決定。 ・高校生無料を追加。 4. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・各賞内容、候補者案を 5 月までに決定。 ・アルミプレート楕決定。 5. 会告案、特典確認。 6. 下記、実施事項報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・委員長案確認。 ・マイページ機能向上。4 月切替予定。

(3)企画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	2 年 4 月 16 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. セミナー開催報告 2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後のイベント開催に関して 3. アルミニウム基礎技術講座 4. 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・第 114 回マグネシウム接合シンポジウム ・第 115 回鉄道車両シンポジウム ・第 116 回鑄造凝固シンポジウム 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料に基づき報告。 2. 6 月末まで開催自粛、7 月以降開催は対策本部方針に従い、開催判断を 2 か月前に実施。 3. 9 月 24-25 日開催、講師見直し中。 4. 各イベントの日程、内容確認。 <ul style="list-style-type: none"> ・9 月開催。 ・内容確定後回数決定。 ・10 月開催。

		<ul style="list-style-type: none"> ・第 117 回冷間プレス成形予測シンポジウム ・第 118 回構造材料表面処理シンポジウム ・車両工場見学(日立製作所笠戸事業所) ・第 119 回自動車シンポジウム ・第 120 回飲料容器シンポジウム ・マグネシウムセミナー第 4 回(つくば) <p>5. アルミニウム合金の組織-応用編セミナー延期</p> <p>6. 軽金属奨学会助成金申請状況</p> <p>7. 創立 70 周年記念事業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第 115 回とし、9 月 25 日開催。 ・令和 3 年 4 月開催。 ・9 月開催(日本車輛製造所豊川製作所) ・令和 3 年 6 月開催。 ・第 117 回として 11 月開催。 ・9-10 月開催。 <p>5. 6 月開催を半年再延期。参加者へのアナウンスを決定。</p> <p>6. 3 月にシンポジウム 2 件を申請中。</p> <p>7. 記念シンポジウムの提案要請。</p>
第 5 回	2 年 7 月 16 日	<p>1. 9 月開催予定イベントについて、</p> <p>2. 70 周年記念シンポジウム</p> <p>3. 新規シンポジウム・セミナー具体案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 115 回連続鋳造シンポジウム ・第 116 回飲料容器シンポジウム ・第 117 回鉄道車両シンポジウム ・第 118 回構造材料表面処理シンポジウム ・車両工場見学(日本車輛) ・マグネシウムセミナー第 4 回(つくば) ・第 125 回衝撃シンポジウム <p>4. アルミニウム合金の組織-応用編セミナーと令和 2 年度セミナー開催予定</p> <p>5. 軽金属奨学会助成金申請状況</p>	<p>1. 114 回冷間プレス成形予測シンポジウム、基礎講座は開催決定。マグネシウム接合シンポジウムは会場確保できず、延期。</p> <p>2. 119 回自動車、120 回接合、チタンを予定。</p> <p>3. 各イベントの日程、内容確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月開催。 ・11 月開催日程見直し。 ・12 月以降開催。 ・3 月開催。 ・9 月開催延期。 ・9-10 月開催延期 ・衝突安全内容を追加。 <p>4. 10 月 2 日貸会議室利用により開催。令和 2 年度は入門編 12 月、中級編 2 月、応用編 3 月開催。</p> <p>5. 3 月申請の冷間プレス、飲料容器承認。7 月申請は連続鋳造と表面処理を申請。</p>
第 6 回	2 年 10 月 7 日	<p>1. シンポジウム、基礎講座、セミナー開催可否判断と日程再調整</p> <p>2. オンライン開催について</p> <p>3. 新規企画具体案について</p>	<p>1. 10 月 2 日の応用編セミナー開催に伴い、令和 2 年度アルミニウム合金の組織セミナー他、延期したシンポジウム開催に向けた日程調整開始。</p> <p>2. 対面開催を基本とし、講師都合により、WEB 講演一部採用を可とした。</p> <p>3. 70 周年記念シンポジウム(自動車、接合、チタン)を計画。</p>
第 7 回	2 年 12 月 7 日	<p>1. 開催報告</p> <p>2. シンポジウム、セミナー日程再調整</p> <p>3. オンライン講演テスト</p> <p>4. 新規企画具体案について</p> <p>5. 軽金属奨学会助成申請</p>	<p>1. 資料に基づき報告。</p> <p>2. 1-3 月開催日程決定。114 回:2 月 18 日、115 回:1 月 22 日、116 回:3 月 12 日、中級編セミナー:2 月 4 日、応用編セミナー:3 月 19 日、マグネセミナー:2 月 12 日、いずれも貸会議室利用。</p> <p>3. 海外講師の WEB 講演を会場設備で確認。Webex 利用可能。</p> <p>4. 進捗なし。</p> <p>5. 7 月申請分交付。2021 年 3 月申請分は 70 周年記念シンポジウム 3 件を予定。</p>
第 8 回	3 年 3 月 2 日	<p>1. 開催報告</p> <p>2. シンポジウム、セミナー日程再調整</p> <p>3. WEB 開催方法検討</p> <p>4. 新規企画具体案について</p> <p>5. 70 周年記念事業、会員増強キャンペーン</p> <p>6. 引継事項</p> <p>7. 委員会出席率</p>	<p>1. 資料に基づき入門編セミナー報告。</p> <p>2. 1-3 月開催予定イベントをすべて延期し、115 回連続鋳造シンポジウムを 4 月 9 日開催とした。</p> <p>3. 講師を会場に集めたウエビナー見積報告。双方向型も検討。</p> <p>4. 進捗なし。</p> <p>5. 資料にも続き報告。</p> <p>6. 委員長案後日提出。</p> <p>7. WEB 開催に変更しても向上なし。</p>

(4)編集幹事会・委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和2年度 第1回編集 委員会	2年5月24日 中止		
第614回	2年5月28日	1. 軽金属5-6月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属7月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 連載講座 G 報告 4) その他	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各 G 検討結果報告。 1) Mater.Trans. 投稿規程、執筆要領、 担当編集委員用審査要領案の総務修 正要請に対応。投稿規程の最大ページ 数、Express Rapid Publication の和 訳投稿など修正。 2) トップ座談会日程調整(10/27) 3) 特集号: 住宅建材、チタン断念。 4) ICAA18 論文集(Mater.Trans. 特集号) 予算作成。5月編集委員会中止とし、次 回11月開催。70周年記念特集号内容検 討。Mater.Trans. 査読・審査方法来春統 一。
第615回	2年7月28日	1. 軽金属8-9月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属9月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 連載講座 G 報告 4) その他	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各 G 検討結果報告。 1) Mater.Trans. 執筆要領、担当編集委 員用審査要領案修正、投稿規程の最 大ページ数、Express Rapid Publication の和訳投稿など修正。和 訳・英訳注意事項作成。 2) ナノインデンテーション解説著者変更。 3) 特集号: 終了研究部会4件検討。 4) 70周年記念特集号内容検討。 Mater.Trans. 査読・審査方法来春統一 に関する質問回答。HPチェック実施。
第616回	2年9月10日	1. 軽金属10-11月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属11月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 連載講座 G 報告 4) その他	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各 G 検討結果報告。 1) Materials Transactions(MT)への ICAA18 投稿例外規程案、担当編集委 員用審査要領案、英訳和訳のガイドラ イン、投稿規程改定など承認。HP 更新 チェック。 2) トップ座談会取材10月27日。70周年 記念出版「私の一枚」巻頭言承認。 3) 特集号: 終了研究部会4件見送り、水 素部会は新部会が後日検討。 4) 70周年記念特集号6月末入稿、「私の 一枚」対価1,000円、会員送付、発刊時 期事務局調整。Mater.Trans.IF 向上 策、10月号からのDOI表記開始。
令和2年度 第1回編集 委員会	2年11月18日	1. 軽金属誌の現況 2. 規程等の改定について 3. 解説、特集号、連載講座について 4. 共同刊行誌 Mater. Trans. について 5. その他	1. 今後の刊行予定確認。 2. 担当編集委員審査要領、投稿規程最大 ページ数変更、英訳・和訳ガイドライン確 認。 3. 発刊予定確認。70周年記念特集号、私 の一枚記念出版 4. IF 向上、審査システム統一を報告。 5. 座長推薦、査読謝礼取り止め
第617回	2年11月18日	1. 軽金属12-1月号の進捗状況報告	1. 進捗状況を確認。

		<p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 1 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 規程整備 G 報告</p> <p>2) 解説記事 G 報告</p> <p>3) 連載講座 G 報告</p> <p>4) その他</p>	<p>2. 校閲状況を確認。</p> <p>3. 掲載内容を確認。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) Materials Transactions(MT) への著名研究者投稿推薦(奨学会助成)の規程類整備次回報告、投稿システムと執筆要領の整合性確認。</p> <p>2) トップ座談会取材記事確認、次年度は自動車関連。企業招待講演の解説執筆要請を承認。</p> <p>3) 特集号は京極先生の積層造形を依頼。連載講座記事の J-STAGE 掲載決定。</p> <p>4) 70 周年記念特集号記事 1 月執筆依頼。「私の一枚」6 月刊行。座長推薦廃止。ICAA18 論文の MT 投稿は講演申込時に投稿可否確認。</p>
第 618 回	3 年 1 月 26 日	<p>1. 軽金属 2-3 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 3 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 規程整備 G 報告</p> <p>2) 解説記事 G 報告</p> <p>3) 連載講座 G 報告</p> <p>4) その他</p>	<p>1. 進捗状況を確認。</p> <p>2. 校閲状況を確認。</p> <p>3. 掲載内容を確認。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) Materials Transactions(MT) への著名研究者投稿推薦(奨学会助成)のフロー図確認、次回規程作成。投稿システムと執筆要領の整合性確認完了。MT 投稿システムへの査読者リスト登録承認。特許の参考文献記述方法決定。</p> <p>2) 次年度は自動車関連。</p> <p>3) 特集号(積層造形)募集会告案。</p> <p>4) 70 年史内容、「私の一枚」見積、引継事項、出席率、連載講座の J-STAGE 掲載 6 月目標。</p>
第 619 回	3 年 3 月 10 日	<p>1. 軽金属 4-5 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 4 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 規程整備 G 報告</p> <p>2) 解説記事 G 報告</p> <p>3) 連載講座 G 報告</p> <p>4) その他</p>	<p>1. 進捗状況を確認。</p> <p>2. 校閲状況を確認。</p> <p>3. 掲載内容を確認。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) Materials Transactions(MT) への著名研究者投稿推薦(奨学会助成)の規程検討。MT 投稿システムへの一体化案内。</p> <p>2) 座談会企業打診を参与経由実施。「自動車軽量化技術の 10 年」5 回掲載を依頼。</p> <p>3) 特集号(積層造形)世話人追加。</p> <p>4) 引継事項確認。会誌掲載記事数増加策協議。</p>

(5) 国際交流委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	2 年 5 月 12 日	<p>1. ALMA2020 準備</p> <p>2. 優秀英語ポスター発表賞選考一本化</p> <p>3. ICAA18 進捗</p> <p>4. 70 周年記念事業</p>	<p>1. 今年開催延期。2021、2022 年開催検討</p> <p>2. 第 139 回大会で一本化試行。規程改定案は試行後、総務委員会の上申。</p> <p>3. ICAA17 は 10 月延期。国内アナウンスは 6 月から実施。</p> <p>4. 2021 年、第 141 回大会での記念招待講演保留。</p>
ICAA18 第 4 回サーキュラ WG	2 年 5 月 15 日	<p>1. WEB 版サーキュラ作成</p> <p>2. 日本国内 PR 版作成</p> <p>3. WEB ページ作成</p>	<p>1. A3 サイズ案作成。</p> <p>2. A4 サイズ 2 ページ、表裏版案作成。</p> <p>3. 英語版デザイン案作成。</p>

ICAA18 第2回会場WG	2年5月15日	<ol style="list-style-type: none"> 会場案と概算見積 懇親会 レセプション会場 展示 	<ol style="list-style-type: none"> 富山国際会議場、ANA ホテル 2 会場を受入。前者 500-550 万円、後者 520 万円。 430 名、着席形式でホテル大宴会場予定。予算、1-1.5 万円/人 国際会議場 1F、2F が候補。 展示 WG と調整。
ICAA18 第3回実行委員会	2年5月22日	<ol style="list-style-type: none"> 実行委員会進捗 プログラム・サーキュラ WG 論文審査・論文集編纂 WG 会場・講演会・バンケット WG 展示・エクスカージョン・工場見学 WG 	<ol style="list-style-type: none"> 予算見直し、全体スケジュール次回提示。 英語 WEB 版、日本語版作成。WEB ページ案承認。プログラム編成は会場コンセプトを優先。 投稿掲載料はアクセス権、フリーアクセスなしの 517 万円案提案。 会場費用は国際会議場 550-600 万円、ANA は 640 万円程度。 展示場所、広さ、費用検討中。エクスカージョン 4 コース、見学 2 コース。
ICAA18 第5回組織委員会	2年6月11日	<ol style="list-style-type: none"> 実行委員会各 WG 進捗報告 <ol style="list-style-type: none"> ①プログラム・サーキュラ WG ②論文審査・論文集編纂 WG ③会場・講演会・バンケット WG ④展示・エクスカージョン・工場見学 WG ⑤WEB ページ作成 ⑥業務委託契約 今後の進め方について <ol style="list-style-type: none"> ①参加費、バンケット費 ②予算見直し 	<ol style="list-style-type: none"> 下記報告を確認した。 <ol style="list-style-type: none"> ①WEB 版 A3 サイズ、日本語版 A3、A4 サイズ作成。日本語版は A4 サイズを 7 月から国内配布。 ②投稿掲載費用 517 万円に削減。Mater.Trans.アクセス権、フリーアクセスなしとした。 ③国際会議場、ANA ホテルで 6 会場案。ポスターは国際会議場 3F。 ④企画展示は国際会議場特別会議室、ロビーに決定。予算 200 万円。 ⑤PCO 社案にスポンサーバナー、ホテル情報を追加掲載。 ⑥委託内容、契約料金見直し依頼。今回からスケジュール管理は PCO 社に依頼。 下記内容を協議、決定した。 <ol style="list-style-type: none"> ①参加費 1 万円値上げ。参加費内訳にバンケット費記載。 ②参加者減少時会場案、予算試算。維持会員寄付検討。最小催行人数設定、オンライン開催検討。
第2回展示SWG	2年6月26日	<ol style="list-style-type: none"> 展示会場 展示内容 	<ol style="list-style-type: none"> 国際会議場の特別会議室、2Fホワイエ、1Fギャラリーに 25 ブース設置。 北陸展示、小山田記念賞展示、セロカーボンテーマ展示を予定。
第2回工場見学・エクスカージョンSWG	2年7月17日	<ol style="list-style-type: none"> 工場見学会間 エクスカージョン案 	<ol style="list-style-type: none"> 9月8日(木)午後、2コース検討。参加費 2000 円。 立山コース、高岡コース、富山コースを候補とし、4日(日)午後と8日(木)午後開催を検討。参加費 6000 円。
ICAA18 第5回サーキュラWG	2年7月20日	<ol style="list-style-type: none"> ICAA17 の開催状況と PR 方法 実行委員会提出資料の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語版サーキュラの掲載内容確認と配布先について ・英語版サーキュラ・WEB サイト 	<ol style="list-style-type: none"> バーチャル開催確認。オンライン紹介資料案作成 資料を確認
ICAA18 第4回実行委員会	2年7月21日	<ol style="list-style-type: none"> 実行委員会進捗 プログラム・サーキュラ WG 展示・エクスカージョン・工場見学 WG 	<ol style="list-style-type: none"> 日本語パンフレット完成。配布先決定。 グルノーブルバーチャル開催、富山紹介資料、英語 WEB ページ修正案、最小催行人数 200 名、参加規模別収支予算案を確認。 展示 25 ブース、北陸展示、小山田記念

			賞展示、ゼロカーボンテーマ展示予定。半日のエクスカージョン 3 コース、見学 2 コース。9 月 4 日にエクスカージョン追加、1 日コース追加検討。
第 5 回	2 年 8 月 5 日	<ol style="list-style-type: none"> ALMA2020 準備 優秀英語ポスター発表賞選考一本化 ICAA18 進捗 70 周年記念事業 その他 <ul style="list-style-type: none"> 第 3 回フラウンホーファーワークショップ HP チェック 	<ol style="list-style-type: none"> 2022 年開催、Meeting は 11 月 6 日 WEB 開催。MOU 案検討。 第 139 回大会ポスター発表 47 件中英語 3 件を大会運営委員会審査。 ICAA17 での富山紹介資料準備。日本語 A4 ポスター完成、学会 HP に掲載。参加者規模別収支計画、スポンサー増強。 第 3 回フラウンホーファーワークショップを記念事業として開催検討。 以下報告。 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、実開催見合わせ。WEB 開催は見合わせ、延期検討。 関連ページチェック担当決定。
ICAA18 第 5 回臨時実行委員会	2 年 8 月 25 日	<ol style="list-style-type: none"> 組織委員会提示案確認 	<ol style="list-style-type: none"> コロナ対応案(200 人参加、400 人参加、ハイブリッド:海外オンライン参加、オンライン)、MT フリーアクセス追加理由確認。
ICAA18 第 6 回組織委員会	2 年 8 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> 収支予算見直し案 英語 WEB ページ案 ICAA17 での ICAA18 富山紹介 寄付募集 	<ol style="list-style-type: none"> 開催規模、形態別 3 案 スポンサー表示決定 10 月 29 日ビデオメッセージ案決定 維持会員 1 口 5 万円寄付募集。スポンサー制度検討。
ICAA18 第 6 回サーキュラ WG	2 年 10 月 6 日	<ol style="list-style-type: none"> ICAA17 の開催状況調査 プログラム編成 プレナリー講演者他選定 HP 公開 ポスター審査 	<ol style="list-style-type: none"> 実行委員会メンバー参加者にアンケート要請。 担当は各テーマ 2 名、1 名 2 テーマ キーノート、招待講演者案を WG で検討。 29 日に富山紹介ビデオ放映、30 日公式 HP 公開。 当日発表のみ審査対象とする。
ICAA18 第 6 回実行委員会	2 年 10 月 19 日	<ol style="list-style-type: none"> 収支予算案について ICAA17 グルノーブル調査について ICAA18 公式 HP について 各 WG 報告 	<ol style="list-style-type: none"> 開催形態別 4 案、裏付資料を確認。 バーチャル開催方式調査を計画。 30 日公開予定、内容確認。 プログラム編成、展示進捗報告。
第 6 回	2 年 10 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> ALMA2020 Meeting(WEB 開催) ICAA18 準備状況 その他 <ul style="list-style-type: none"> 第 3 回フラウンホーファーワークショップ 国内の学協会との連携、国際化、知名度向上に関するアイデア等について 優秀英語ポスター発表審査 	<ol style="list-style-type: none"> MOU 案と調印する各国代表、後援組織を確認。WEB 開催接続テストを計画。 10 月 29 日 ICAA17 での富山紹介後、30 日公式 HP 公開。富山開催は参加人数、オンライン、ハイブリッドなど開催形態別収支予算案作成。 以下報告。 <ul style="list-style-type: none"> 夏以降、積層造形データで計画。 前期残課題について、協議。 審査一本化を実施。47 件中英語ポスターは 3 件。
ALMA Meeting	2 年 11 月 6 日	<ol style="list-style-type: none"> MOU 調印 台湾開催 AFLM-2019 報告 タイオブザーバー参加 	<ol style="list-style-type: none"> 案文修正、調印する後援団体確認。 台湾軽金属協会から報告。 タイ科学技術研究所(TISTR)オブザーバー参加。ALMA2022 参加要請。
ICAA18 第 7 回実行委員会	2 年 11 月 10 日	<ol style="list-style-type: none"> ICAA17 オンライン国際会議状況アンケート ICAA18 ホームページ ICAA17 国際委員会報告 	<ol style="list-style-type: none"> 各 WG でオンライン開催の場合の課題を検討する。 日本委員に所属を表示する。 2024 年はジョージア工科大学担当、今後もバーチャル開催検討必須。
ICAA18 第	2 年 12 月 9 日	<ol style="list-style-type: none"> 開催形態別収支予算案修正 	<ol style="list-style-type: none"> オンライン開催を含め 4 パターンの予算

7 回組織委員会		<p>2. ICAA17 調査・報告</p> <p>3. ホームページ</p> <p>4. WG 報告</p> <p>5. 課題検討スケジュール</p> <p>6. 組織委員会宿題事項</p>	<p>案修正を承認。</p> <p>2. バーチャル開催状況をアンケート調査、オンライン開催の課題抽出。ICAA ルール改正(Proceedings 提出を原則必須としない、ECR 賞選考は過去業績で実施)</p> <p>3. 委員所属追加</p> <p>4. 講演セッション編成担当決定、Mater. Trans. 特集提案、展示メインテーマ内容検討</p> <p>5. 開催形態判断時期 2021 年 8 月、2022 年 1 月など検討。12 月、1 月実施内容確認。</p> <p>6. 協賛依頼、維持会員寄付要請を事務局実施。スポンサー募集はコロナ対応で内容見直し。</p>
第 7 回	3 年 2 月 2 日	<p>1. ALMA2020 Meeting 報告</p> <p>2. ICAA18 準備状況</p> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽金属奨学会 Mater. Trans. へのレビュー ・ペーパー投稿助成進捗 ・第 139 回秋期大会オンライン開催 英語ポスター審査状況(日本語受賞との格差) ・引継事項 協議 ・委員会出席率 	<p>1. 会誌掲載記事、議事録確認。MOU 調印する各国代表、後援組織確定。調印方法検討。</p> <p>2. 開催形態判断時期、オンライン開催時の参加費など検討中。</p> <p>3. 以下報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外研究者推薦を検討 ・47 件(内英語 3 件)で 10 名表彰中に英語ポスター賞受賞 1 名、点数格差もなし。 ・委員意見聴取、次回まとめ。 ・WEB 開催で平均レベルとなった。
ICAA18 第 8 回実行委員会	3 年 2 月 8 日	<p>1. オンライン開催課題検討</p> <p>2. 各 WG 進捗報告</p>	<p>1. 開催時間帯、オンラインプラットフォームなど 5 月までに開催案検討。</p> <p>2. 展示・エクスカージョン WG からオンライン開催時の検討案報告。</p>

(6)大会運営委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	2 年 5 月 15 日	<p>1. 第 138 回春期大会中止決定とコロナ対応</p> <p>2. 企業 WG 報告・討議</p> <p>3. 運営 WG 報告・討議</p> <p>4. 139 回秋期大会準備状況</p> <p>5. 140 回春期大会予算、実行委員準備状況</p> <p>6. 70 周年記念事業</p>	<p>1. 災害時・緊急時の大会中止対応、オンライン開催検討、</p> <p>2. 138 回企画を 139 回にスライド。</p> <p>3. 大会 2.5 日制アンケート、英語ポスター審査一本化決定。大会規程改定案再度総務委員会へ上申。講演申込料無料化、春期大会申込時の入会受付、費用支払期限見直し。</p> <p>4. 市民フォーラムは JAXA 講演、託児室無料化、ALMA2020 延期。</p> <p>5. 予算、実行委員承認。ホテル開催。</p> <p>6. 春秋大会に創立 70 周年記念と冠を付け開催。</p>
第 5 回	2 年 8 月 21 日	<p>1. 第 139 回秋期大会オンライン開催の内容</p> <p>2. 大会運営 WG 報告</p> <p>3. 第 138 回春期大会決算報告</p> <p>4. 第 140 回春期大会開催計画</p> <p>5. 70 周年記念事業(冠大会)</p>	<p>1. オンライン開催決定経緯を確認し、ライブ開催決定。ポスター発表方法、収支、マニュアル、企業研究会内容など、今後、業者選定も含め検討。</p> <p>2. 大会 2.5 日制アンケートは実施延期。オンライン大会アンケートを実施。140 回大会から講演申込料無料、参加費値上げ。キャンセルポリシー作成。</p> <p>3. 108 万円(広告・機器カタログ展示含めると 136 万円)の黒字を報告。</p> <p>4. ホテルコロナ対応の収容人数減少に伴う予算修正案。オンライン開催決定は 4 か月前の 1 月と決定。</p> <p>5. 冠大会とし、イベント計画。</p>

		6. 第 139 回秋期大会プログラム編成	6. WEB 編成会議実施。
第 6 回	2 年 10 月 13 日	<p>1. 第 139 回秋期大会オンライン開催準備</p> <p>①オンライン開催 HP</p> <p>②マニュアル</p> <p>③会場係役割</p> <p>④機器・カタログ展示</p> <p>⑤軽金属企業研究会</p> <p>⑥若手の会、女性会員の会</p> <p>⑦優秀ポスター発表賞審査</p> <p>⑧アトラス社関係(Zoom リンク、サポート)</p> <p>⑨オンライン開催アンケート</p> <p>⑩収支予想</p> <p>2. 運営 WG 報告</p> <p>①大会運営全般の見直し・改善</p> <p>②概要フォーマット書き方修正</p> <p>③オンラインプログラム編成方法改善</p> <p>3. その他</p> <p>①第 140 回春期大会関連事項</p> <p>②論文投稿座長勧誘廃止</p>	<p>1. 下記報告。</p> <p>①10 月 12 日公開</p> <p>②聴講者、座長、発表者用作成。 リハーサル 30 分 6 回を計画。</p> <p>③講演・ポスター52 会場担当調整。</p> <p>④機器展示 2 社、カタログ展示 1 社。</p> <p>⑤6 社が WEB 説明会開催。</p> <p>⑥会期中 Webex オンライン開催。</p> <p>⑦WEB 受付、審査結果メール送付。</p> <p>⑧座長補佐を業者サポート係に依頼。</p> <p>⑨11 月 9 日参加者アンケート実施。</p> <p>⑩390 名参加で黒字予想。</p> <p>2. 下記、報告。</p> <p>①講演申込費無料、参加費 2000 円値上げ。</p> <p>②日本語概要の発表者に下線表示。</p> <p>③企業座長候補リスト作成。</p> <p>3. 下記報告</p> <p>①理事会にオンライン開催を上申。</p> <p>②139 回より実施。</p>
第 7 回	3 年 2 月 5 日	<p>1. 第 139 回秋期大会決算、アンケート、反省点</p> <p>2. 第 140 回春期大会のオンライン開催計画</p> <p>3. 第 141 回秋期大会について</p> <p>1)開催計画概要、予算、実行委員会名簿</p> <p>2)創立 70 周年記念式典 11 月 12 日開催</p> <p>3)テーマセッション募集日程</p> <p>4. 企業 WG 報告・討議</p> <p>5. 運営 WG 報告・討議</p> <p>1)オンライン開催改善、マニュアル、交流策</p> <p>2)ポスター審査方法</p> <p>3)オンラインプログラム編成方法</p> <p>4)2.5 日制アンケート</p> <p>6. 男女共同参画委員会報告</p> <p>1)第 140 回大会男女共同参画セッション</p> <p>2)第 140 回大会若手の会、女性会員の会</p> <p>3)第 141 回大会キャリアセッション</p> <p>4)学生・若手研究者懇談室設置等</p> <p>7. 引継事項、委員会出席率</p> <p>8. 第 140 回大会プログラム編成について</p>	<p>1. 決算、アンケート結果について報告。</p> <p>2. 資料に基づき報告、オンライン改善策を確認。談話室、懇親会検討。</p> <p>3. 第 141 回秋期大会実施内容決定。</p> <p>1)資料に基づき報告、確認。</p> <p>2)資料に基づき報告、確認。</p> <p>3)資料に基づき報告、確認。</p> <p>4. 第 140 回リクルート企画は当日面談なし。セッション 2 件計画。第 141 回は高校生ポスター発表を計画。</p> <p>5. WG 各担当から報告、討議。</p> <p>1)各マニュアル改定、Remo 利用談話室、懇親会開催。</p> <p>2)事前 e ポスター掲載、2 部制、ブレークアウトルーム利用。</p> <p>3)2 回目実施に向け方法案作成。</p> <p>4)第 141 回秋期大会 2.5 日制実施後にアンケート実施。</p> <p>6. 両会からの報告を確認。</p> <p>1)身近な無意識のバイアス予定。</p> <p>2)Zoom 会場を準備。</p> <p>3)企業ドクター講演を検討中。</p> <p>4)交流の場を Remo で提供。</p> <p>7. 次回協議、80.2%で高出席率。</p> <p>8. プログラム編成。座長、ポスター審査員案を決定。</p>

(7)研究委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 3 回	2 年 4 月 14 日	<p>1. 研究部会期末報告</p> <p>2. 新研究部会報告</p> <p>3. 令和元年度事業報告、決算</p> <p>4. 部会入会手続き、部会費徴収について</p>	<p>1. 17 研究部会報告。</p> <p>2. マテリアルズ・インフォマティクス研究部会報告</p> <p>3. 資料に基づき報告。</p> <p>4. HP に入会手続き掲載。6 月部会費徴収。</p>
第 4 回	2 年 6 月 9 日	<p>1. 研究部会期末報告</p> <p>2. 新研究部会報告</p> <p>3. 令和 2 年度部会費徴収について</p> <p>4. 日本アルミニウム協会ロードマップ共同作</p>	<p>1. ミュオン部会報告</p> <p>2. マテリアルズ・インフォマティクス研究部会開催報告</p> <p>3. 部会参加企業確認。</p> <p>4. 2020 年度版は近々発行。2022 年度版</p>

		成の件 5. 部会新設検討 6. 部会運営サポート体制 7. 研究部会紹介会誌掲載 8. 研究部会 WEB 開催時の参加者制限	について共同作成方法協議。 5. 提案要請。 6. 各部会担当者を選定。 7. 4月から掲載開始。 8. 講師講演は部会長判断で部会メンバー外の聴講を可とする。
第5回	2年10月12日	1. 研究部会新設検討 2. 2022年版ロードマップ 3. 部会中間報告	1. 3部会新設提案 2. 日本アルミニウム協会のロードマップテーマ・項目提示を受け、学会でサイエンスロードマップ作成。 3. 7部会報告。
第6回	2年12月15日	1. 研究部会新設検討 2. 研究部会延長申請 3. 令和3年度予算作成依頼 4. 研究部会報告書発刊時期確認 5. 研究委員会 HP 見直し 6. 部会中間報告	1. ひずみ速度感受性モデル化、相変態挙動研究部会(略称)新設承認。 2. コロナ影響で研究進捗遅れが発生し、2022年3月終了予定の中高温、耐火物、アップサイクル部会の1年延長を承認。 3. 1月中旬依頼、2月初旬提出を要請。 4. 今期終了3部会の発刊時期報告。 5. 委員長見直し内容を確認。総務委員会へ報告。 6. 7部会報告。

(8)支部長会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第5回	2年6月2日	1. 令和元年度支部収支報告書および令和2年度支部収支予算書および第1四半期決算について 2. 中堅企業支援活動 3. 支部共通費枠新設について 4. 創立70周年記念支部事業について 5. 今後の開催予定地 6. 年間表彰スケジュール 7. その他 ①エネコン審査・表彰式対応(関東支部) ②今期の支部長会予定 ③支部特集号について ④新型コロナ対応方針	1. 事務局より提示した資料確認。 2. 令和元年度実績報告と令和2年度活動要請。 3. 共通費枠127万円試算案について、12月までに課題、支部設定残額を検討。 4. 表彰実施の自由度をもたせ、支部事業案、予算(30万円)を検討。 5. 2022年第142回春期大会開催日程、予定地を関西支部に依頼。 6. 事務局提示資料を確認 7. 以下、報告 ①オンライン開催、本会表彰なしとなり、審査・表彰中止、後援承諾。 ②11月8日、2月16日の他、必要に応じてWEB開催。 ③北海道支部2022年に延期。 ④支部判断で行事開催。
第6回	2年11月13日	1. 令和2年度支部第2四半期決算 2. 令和3年度支部費配賦額 3. 支部70周年記念事業計画・予算 4. 今後の開催予定地 5. 年間表彰スケジュール	1. 事務局より提示した決算資料確認。 2. 配賦額、支部共通費枠設定承認。留保額再度調整。振込方法検討。 3. 70周年記念助成額30万円、計画12月末作成。 4. 142回春期大会(関西)、143回秋期大会(関東)12月決定。144回春期大会(東海)を香川にスライド。145回秋期大会は都立大にスライド。 5. 2021年度スケジュール連絡。
第7回	3年2月16日	1. 令和2年度決算見込み・令和3年度予算 2. 70周年記念事業 3. その他 ・支部長交代	1. 今期より支部留保超過額の支部共通費枠への振替実施を見込んだ決算、予算を報告。 2. 事業全体報告。会員増強キャンペーンの対象(会費相当額のイベント参加費支払い)緩和要請。 3. 以下報告。 ・5支部交代。

		<ul style="list-style-type: none"> ・支部活動報告・計画作成依頼 ・今後の春秋大会開催予定地・日程について ・令和2年度エネルギー利用技術作品コンテスト報告 ・維持会員技術相談室利用状況 ・引継事項作成依頼 ・令和3年度支部長会日程 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月12日提出要請。 ・2023年第144回春期大会を香川大学開催、2022年春秋大会未定。 ・学会会長賞表彰なし。 ・2014年からの実績9件報告。 ・3月31日提出要請。 ・理事会日程と合わせて報告。
--	--	---	--

(9) 参与会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第29回	2年7月8日 中止	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見学会の実施 2. 講演会の実施 3. 委員会の開催 	<ol style="list-style-type: none"> 1. IHI「つなぐラボ」、「グループ横浜ラボ」 2. 「オープンイノベーション推進に関する事業紹介」 3. 参与会活動について
第30回	2年11月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講演会の実施 2. 委員会の開催 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「アルミニウムのサプライチェーンにおけるサステナビリティへの取り組みについて」、「大学におけるSDGsの取り組みについて」 2. 参与会活動について

(10) 男女共同参画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第4回	2年4月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第138回春期大会中止 2. 第139回秋期大会計画 3. 第140回春期大会計画 4. 託児室運用マニュアル案 5. 2020年夏の学校準備 6. 仕事・育児両立意識調査 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第140回に延期。 2. 「最近の上司と部下のコミュニケーション」に題名変更。 3. 「身近な無意識のバイアス」企画。 4. マニュアル案承認。 5. 開催連絡待ちで前年内容を準備。 6. アンケート実施ワーキンググループを設置、アンケート案検討。
第5回	2年7月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第139回秋期大会 2. 第140回春期大会 3. 第141回秋期大会 4. 2020年夏の学校 5. 仕事・育児両立意識調査 6. 70周年記念事業 7. HP更新 8. 第139回秋期大会への要請 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オンライン開催決定時も開催要請。 2. 5月15日開催を講師打診。 3. 総務委員会と内容再検討。 4. オンライン開催となり、展示中止。キャリアアンケート回答し、女子中高生の相談対応に協力。 5. アンケート内容案検討。 6. 8月までに記念事業案提案。 7. 日本語HP掲載順番変更、英語HP追記。 8. オンライン開催時に若手の会、女性会員の会開催を要請。
第6回	2年10月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第139回大会オンライン開催案内 2. 第140回春期大会 男女共同セッション 3. 第141回秋期大会 男女共同セッション 4. 2020年夏学オンライン報告 5. 2020年男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 6. 仕事・育児両立意識調査 7. 若手の会での博士課程学生との交流 8. 70周年記念事業進捗 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師2名に案内。 2. 138回の無意識のバイアス講演。 3. ドクター向け企画を計画。 4. オンライン開催に参加。 5. オンライン開催に6名参加。ポスター、活動報告資料送付。 6. 70周年記念事業の 7. 状況を世話人から聞き、改善策を協議する。 8. 秋期大会前日にパネルディスカッション開催を企画。
第7回	3年1月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第139回大会オンライン開催報告 2. 第140回春期大会 男女共同セッション 3. 第141回秋期大会 男女共同セッション 4. 2020年男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 5. 合同会議(総務、男女・若手の会)報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料に基づき報告。 2. 無意識のバイアス講演。アンケート案協議。 3. ドクター向け企画を計画。 4. オンライン開催参加報告。 5. 若手の会活性化、春期大会要望。

		6. 仕事・育児両立意識調査 7. 70周年記念事業検討 8. 引継事項 9. 出席率	6. 207名回答のデータ解析方法、担当決定。 7. 10月理事会前後に研修会、11月11日にパネルディスカッション開催。 8. 3月末提出。 9. 内容確認。
--	--	--	---

(11)組織委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和2年度第1回	2年11月2日	1. 令和3・4年度役員候補に関する件	1. 次期理事候補、会長、副会長候補案を協議。
令和2年度第2回	3年1月20日	1. 令和3・4年度役員候補に関する件	1. 次期の役員候補および会長、副会長候補を選定、理事会に諮る。

[4]許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡令和年月日	議事事項	履行状況
なし		

[5]契約に関する事項

契約締結令和年月日	契約内容	契約先・委託者
2年4月1日	押出材組織に起因する検討部会受託研究契約書	日本大学機械工学科 教授 星野倫彦
2年4月1日	押出材組織に起因する検討部会受託研究契約書	長岡技術科学大学技学研究院 准教授 本間智之
30年4月1日	押出組織制御研究部会受託研究契約書	千葉工業大学工学部機械サイエンス学科 准教授 寺田大将

[6]寄付金に関する事項 寄付金支出はなし

[7]主務官庁からの連絡および報告事項

連絡令和年月日	議事事項	履行状況
なし		

[8]その他重要事項 特になし

[9]会員動向

()内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
令和3年4月1日	49	94	1,426	264	(5)	1,690	1,833
令和2年4月1日	51	93	1,523	294	(5)	1,817	1,961
差引増減	△2	1	△97	△30	-	△127	△128

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
令和3年4月1日	436	88	867	35	1,426
令和2年4月1日	453	89	942	39	1,523
差引増減	△17	△1	△75	△4	△97

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数								年間購読	
			10	8	6	5	4	3	2	1		合計
令和3年4月1日	5	132	2	0	0	0	1	2	15	112	172	58
令和2年4月1日	5	141	2	0	0	0	1	2	16	120	182	55
差引増減	-	△9	-	-	-	-	-	-	△1	△8	△10	3

[10]事業報告の附属明細書 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。